京城日報（每日刊行・新年中無休刊）

# 十二月八日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

## 過激宣傳者侵入 日本瑞西米國へ

米國代議士移民委員會の發表する所に依れば露國赤衛隊の宣傳者は頻りに瑞西及び東京に入込みつゝあり且つ米國に向ひても入國の手段を求めつゝあり尚ほ多數の露國過激派宣傳者は墨西哥南岸に侵入し殊に危險なる過激主義者の米國に入國するもの一日平均百人内外ありと（紐育電報）

## 我勞働委員出發

國際勞働會議出席中なりし武藤、桝本兩委員及び顧問は十二月一日夜華盛頓出發歸朝の途に就きたる旨外務省に入電ありたるが右一行は二十二日桑港發の西伯利丸にて歸朝すべしと（東京電報）

## 外蒙自治撤消と訓令

外蒙自治撤消發表後に關し大總統の發したる訓令如左（北京電報）

「現在外蒙自治を撤消し善後諸務調劑緊要にして該處新民は極めて重大關係あり徐樹錚に責成し西北籌邊使を以て外蒙善後一切事宜を督辦せしめあらゆる原設の鎭撫大員及佐理員の各職は一律に撤消す官制の如何に定むべきかは國務院に於て各主管機關と會同して擬議し決定を俟ちて法に依り頒行す未だ頒行を經ざる以前に於ては駐辦事大員公署は西北籌邊使公署に歸併し其佐理各員は仍ほ各該區域に留り西北籌邊使に承けて現行事件を辦理し該籌邊使は邊情を體察し久遠な規畫を以て本大總統の邊疆を綏治するの主意に副へ」此に令す

## 漢粤川鐵道借款

漢粤川鐵道局と英國某銀行との間に一百萬元の短期借款契約成立したるが該局顧問は現金受取のため五日北上せり（北京電報）

## 山西鑛山新發見

山西省礦務管理局當事者の發表する所に依れば該省北部地方に新に發見せられたる鑛山は合計鐵礦十三處炭礦二十處銅礦二處硫礦一處にして何れも埋藏甚多大にして且採掘容易なりと其鑛山は實に次の如し（北京電報）

大同縣東山（鐵礦一處銅礦一處）渾縣東北（鐵礦三處硫礦一處）寧武縣西山（炭礦七處鐵礦三處）山陰縣西面山（炭礦七處）左雲縣南山（鐵礦二處銅礦一處）右玉縣西山（鐵礦一處炭礦六處）

## 支那造船組合罷業

支那沿岸航路高等船員及び造船組合の待偶要求に對し船主側よりは未だ回答せず又船主保護協會は之を受附ざる爲め組合は既に最後通牒を發し十二月十七日より罷業を開始することゝせるが之に關する船舶は六十隻なりと（北京電報）

## 李總長辭表提出

新內閣の新財政總長李思浩氏は次長任命問題に關し新總理先例を無視し總長の同意を得ずして任命したるを以て自己の體面を汚したる者となし憤慨の餘り辭表を呈し天津に赴けり（北京電報）

## 論功行賞調査 陸海軍主要部は調査濟

講和條約は佛國政府より批准寄託の回答あり次第官報號外を以て發表直ちに大詔煥發さるべきが之れと同時に講和委員隨員及び西園寺、牧野兩氏其他委員隨員及び出征部隊、海外派遣軍隊、外交調査委員其他內閣員等の論功行賞行はるべく當局にては昨今之れが下調査に忙しく殊に陸海軍は最も多數なるべきを以て調査を急ぎ居れるが行賞の主要部は既に調査濟となり何時にても御裁可を得らるゝ樣準備整ひたる由なるが之れが爲め六日は土曜日なるにも拘らず當局委員の退廳は夕刻に及び十數名の臨時委員等は數日來徹宵執務をなし居れり（東京特電）

## 電報料値上

葉書封書値上中止か 明年度歳入豫算には郵便料及び電報料値上の計畫ありしが政府部內に於て葉書並に封書の値上を中止し單に電報料の値上に止むべしとの意見有力となれり（東京電報）

## 電話料値上額

遞信省にては六大都市は勿論一般的に電話料の値上を爲すべく目下頻りに調査を急ぎつゝあるが現在の都市は夫々料金に高低あるも概して一割以上の値上をなすならんと（東京電報）

## 西貢米解禁期

西貢米輸出解禁は多分十二月十日より實施さるべし（東京特電）

## 專任法務局長 橫田裁判所長

總督府法務局長は國分三亥氏の兼任なりしが今回慶尚北道地方法院長橫田五郎氏法務局長に轉任し國分氏は檢事長專任となるべく近く閣議に附議御裁可を經て二十日頃發表さるべし（東京特電）

## 正親町男隱居

男爵正親町季董氏は豫て隱居願出中なりしが十一月二十九日許可ありたり（東京特電）

## 奉天公會堂落成

奉天公會堂は工事延遲中なりし所此程愈々工事落成せしを以て七日午前十一時より竣成祝賀會を開催せるが林總領事、張巡閱使並に官民多數の祝辭ありて正午より開宴多數の餘興ありて萬歲聲裡に午後四時散會せり（奉天特電）

## 奉天商事近く創立

奉天商事會社は資本金三百萬圓にて證券信託の姉妹會社として計畫中なりしが愈々大連奉天相互に三萬株宛を割當て且つ奉天側は證券信託一萬株を割當て發起者約八名にて二萬を割當て專ら發起者成立となすべく決定したるを以て本月十二日迄に全部の拂込を了り直ちに創立を見るべく確定せるが人氣極めて良し（奉天特電）

## 日銀帳尻

五日の現在左の如し（東京電報）

| | 千圓 |
|---|---|
| 發行高 | 一、一九〇、二一四 |
| 正貨準備 | 八八〇、一一七 |
| 限外發行 | 一九〇、〇九七 |
| 貸出高 | 四一二、八七七 |

## 總督一般面接日

齋藤總督は一般の面會日を定むるを以て双互便宜と認め爾今毎週月木の兩日午後一時より同四時迄總督府に於て面接する事となれり

## 總督邸晩餐會

既報の如く齋藤總督は七日午後六時總督邸に城崎鮮議士、諏訪頭取、滯鮮頭事其の他總督府側局部長十名を招待し晩餐會を催したり

## 軍司令官訪問

齋藤總督は七日午前十一時軍司令官々邸に宇都宮大將を訪問し懇談刻にして辭去せり

## 府尹異動發表

七日付左の通り府尹異動發表ありたり

總督府々尹 京城府在勤 金谷充
釜山府在勤を命す 總督府々尹 齋藤禮三
京城府在勤を命す 同 宮館貞一
群山府在勤を命す 同 吉松憲郎
仁川府在勤を命す

## 水產主任會議（第一日）

水產主任技術官水產製品檢査員會議第一日は西村殖產局長統裁の下に八日午前九時半より總督府第一會議室に於て開會府に於ける日程に入り水產製品檢査員の打合せあり午後四時散會したるが會議は十三日迄六日間毎日開會さるべしと

## 鐵道荷物通關取扱改正

本月一日より朝鮮線鐵道院線連絡線に於て通關取扱方を改正したるが其の要點を列記すれば從來通關荷物は荷主自ら稅關の檢査を受くるを原則とし鐵道に之れが代辦を依託する場合は委任狀即ち代辦依賴狀に印紙を貼用署名調印の上提出を要する事になり居りしを改め特定のものゝ外は託送を受けたる荷物は荷主の手續きも共に鐵道に於て代辦するものとし荷主が之を欲せざる物に限り通關を爲す場合のみ（手荷物）自ら通關は荷主自ら之を受くべき事は從來の通り比の點は單に品名數量其他の要項を記入したる荷物明細書を記名提出せば可なる事となりたるを以て從來に比し其手數が少からず輕減せられたり尤も明細書の外仕切り書を添付すべき事は從前の通りなるも內容純なる小荷物に對しては之を省略し得ることゝなれり猶從來通關する法規手續等は細大各種に亙り書是を一覽通曉するに不便なりしも今回の改正統一に依りて荷主公衆は勿論鐵道係員等も一層複雜なる通關の取扱手續きに通ずる事を得べく從來通關代辦の範圍に就ても多少關聯を缺く點ありしも本改正に依りて此弊を一掃し荷主鐵道間の取扱上に便宜を與へたる事尠からざるものなりと

## 國境橫斷旅行を終りて（六） 國境憲兵の勞苦（中）

伊藤特派員

### 鮮匪侵入と

江岸一帶に於て最も我が警備機關を惱すは（一）不逞徒輩の鮮匪侵入と（二）巧妙にして惡辣なる手段に惡はされて對岸に走らむとする密輸入の策謀（三）不逞漢の鮮地に於ける軍資金の募集に對する警戒（四）銃砲火藥類の密輸入及び一般物貨の密貿易取締等なり。又一部の方面に在りては馬賊の襲撃に對する戒、森林地方に在りては山林中の

### 罌粟密栽の

取締等なるが如し就中苦心しつゝある不逞漢の鮮地侵入にて豆滿江の如きは到る處に淺灘あり減水時にあらずとも徒涉し得る箇所少からざるが故に如何に渡船場を嚴戒するとも夜間淺瀨を渡りて禁輸品を密入し來らむにも限られざる不利あり鴨綠江方面に於いては上流を除くの外徒涉不可能なるも馬賊李虎龍一派の如きは殼にて筏を作り永甸河口附近より

### 江流を渡り

丁遡近したる實例あり寸時も警戒を緩うすべからざるものあれば晝夜を分たず管內を巡邏しつゝあり。然るに一度嚴冬季に入らむか滔々たる江水はたゞ一枚の氷と化し支那も帝國も地續きとなり

### 之れが取締

は其反比例を以て一層の困難を來し警察官の苦勞は更に幾倍か加ふるに至るべし。對岸に誘出されて妥子に加盟しつゝある鮮人は此の種なるにあらざるも此の常人の鮮地に於ける職責と任務を聞くに於ては慄然たらざるを得ざるものあり、コは國威に係はることゝなれば戎衛を掌るも此の責は一に上長者の監督宜しきを得ざるに歸せざるべからず

### 假政府派の

鮮地に於ける軍資金募集は頗る巧妙にして單に國境方面のみに於て行はれをるにあらざるも、平北各地には飯尾道事が十月一日附らざるべし。

### 而も好意的

に是を說す界邊までの對岸に於て頻々と行はるゝ襲撃は悉く破獲より盜賊江界郡にて警備機關が勞苦を重ぬるは其は國威に係はるもの、如し。時に憲兵在所を襲撃することあり、襲撃せざる迄も戒嚴なるを要し、彼の滑一派の駐在所にては裝彈せる短銃を枕下に置きて就寢するを常とせり、假令熟睡するとも其の夢は圓かならざるべし。

## 旱害の朝鮮貿易に及ぼせる影響（中）

—物價に及ぼしたる影響— 總督府關稅課長 林繁藏氏談

### 旱魃と地方人氣

惟ふに旱魃の慘狀は否定すべからずと雖も生產品の高値代用品輸入食料の潤澤等從來好況の餘澤に依り現在の所地方人氣は左程銷沈せざる者の如く加ふるに鐵道其他土木建築工事勞力の需要多く相當の高賃銀を得らるゝのみならず被害の甚だしき地方に於ては適當救濟の方法講ぜらるべきを以て當分は大なる形勢の惡化なかる可しされど時日の經過と共に漸次若干の不況を釀すに至る可く一般市況轉換の時期は來春後なる可しと觀察せらる

### 物價との關係

八月以降旱害の事實顯著となるや穀物界の人氣自然緊張し市場は所謂旱害相場を出現し內地相場に比して著しく割高を示せり今仁川市場に就て之を見るに同地當業者の米穀輸出の採算に依れば大阪相場との値鞘は二圓內外を普通とす然るに八月上旬に於ては僅に五十錢に接近し中旬末には二十錢の逆鞘を呈し甚だしく不突合を呈せりされど八月下旬雨の襲來と共に人氣緩み値鞘も復し九月以降再び相場反撥したるが之れ主として內地の大勢に伴なへるものなりとす最近四箇月間主要市場に於ける中等玄米相場を示せば左の如し

| | 仁川 | 釜山 | 群山 |
|---|---|---|---|
| 七月初 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 同末日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 八月十日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 八月廿日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 九月十日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 同末日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 十月十日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 同三十日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

| | 鎮南浦 | 大阪 | 仁川對大阪値鞘 |
|---|---|---|---|
| 七月初 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 同末日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 八月十日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 八月廿日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 九月十日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 同末日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 十月十日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 同三十日 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

大豆麥類の相場も略同樣の趨勢を辿れるが之等に反し旱魃の爲高價の飼料缺乏を來せるを以て農民の家畜を賣却する者多く牛豚鷄等の地方價格一時暴落した り卽ち小牛に就て之を見るに七月末より低落の氣配を示し八月中旬には地方より約五割の暴落を告ぐるに至れり

### 輸移入品價格

叙上の如く朝鮮の生產品には若干の波瀾を示したれども輸移入品にありては格別に大なる變化なきを以て主として原產地の漸騰地方在庫等の關係により異動を示せる外旱害の影響と認む可きものなし

## 欝蒼たる大森林 森林鐵道の第一期伐採區域

森林鐵道技師 菌部日出雄氏談

森林鐵道技師菌部日出雄氏は同社にて特許を得たる北鮮森林地帶の實査を終り七日歸城せしが其の談に曰く

### 未知數の林相

今回予の踏査した森林地帶は鐵道にて伐採許可を受けし茂山所管の咸鏡北道茂山郡の一部約四萬町步であつた爾林は向ふ十ケ年の豫定にて右の大區域を伐採すべく乃ち第一期計畫に屬する地方である場所は咸興より西北十三里赴戰嶺より黃草嶺に達する山嶺を區劃してその奧地を探險より探險へ踏破したのでして元來あの森林地帶はこれまで何れの方面にても未だ實況調査に手をつけてゐない從つて世上森林に關する諸種の說を生んでゐる所以ですが今回予の踏査の結果林相の絕大にして伐採運搬に相當の手を盡せば非常に有望なるものなることを發見したのである

### 無盡の森林

今回踏査した第一期の伐採區域は便宜上大別してよからうと思ひます鐵道の本線は咸興より五老里を經て黃草嶺まで十二里黃草嶺等の赴戰嶺事業區に到達するのです咸興より長津に到る一帶を越え長津に到達するので嶺を越ゆる草嶺事業區に屬する林相

は殆ど全部が落葉松であつてパルプ原料として最も有望なるタウヒ、モミ類の大木密生しパルプ用材伐採地としては赴戰江流域三地點に比し僅に勝つてゐる全本線まで伐材の運搬をなすに少からぬ手を要するがこの三里若くは四里の長距離を觀はずトロの如きを盛んに敷かねばなるまい赴戰嶺の事業區に屬する方面はパルプ用材より製材用の落葉松が多い然しその伐運搬は比較的容易であるし森林搬搖たるものにつき五老里より本線を分岐し處理をも貫ぬき赴戰嶺下までその地區を伐採するため支線を敷く必要があるであらう要するに第一期伐採地はパルプ並に製材用の林相無盡と云ふも可なるべく十箇年間に之れを伐ると云ふ事は難事であらう

### 問題は勞働者

林相十分にして鐵道を敷けばその輸送に問題なく會社の前途は鐵道並に新に生るべき工業會社とも期して多望だが唯一の難關は勞働者の不足である一帶の地人煙稀薄從つて多くの人夫を得られず又得られても伐材や運搬に經驗なし旁他地より多數の勞働者を羅致し一方土地の勞働者に事業上の訓練をなす必要ありと信ぜらる

## 森鐵林相調査

森林鐵道より森林地帶調査の爲出張したる同社技師菌部日出雄、五百旗技手の一行は十月以來長津方面に於て豫定の實査を終り七日歸城したりと

## 仁川期米軟調

八日前場の仁川期米は內地氣乘薄く嫌氣投げとにて軟勢となり先寄附四十八圓六十錢高値八十錢安値は七圓臺に落ちて九十九錢となり結局八圓二十錢に打

## 京田客車增結

京管局にては近來京釜線旅客增加せしに付當分の內南大門午前十一時發大田行列車及び午前八時十分大田發南大門午後七時廿五分着列車に限り特に客車一輛を增結し乘客の混雜を緩和すべしと

## 咸興線試運轉

近く開通すべき咸興永興間咸鏡線南部線路試運轉を七日擧行したるが成績頗る良好なりし旨京管局に電報ありたり

## 機關車竣成

京管局にては豫て機關車十二輛を龍山本廠に於て組立中の處五日一輛を竣成し累計四輛となれりと

## 機關庫新設

京管局にては咸鏡線南部咸興永興間開通に伴ひ咸興に機關庫を新設することゝし來る十五日より事務を開始すべしと

## 政務總監歸期

目下東上中なる水野政務總監は內田財務局長は來る二十日頃迄に豫算に關する打合せを了し月末一旦歸任來春一月十日頃再び東上の豫定なる旨某所に消息ありし由

## 試驗所長後任

中央試驗所長豐永眞里博士退官に就き總督府商工課長中田清三郎氏

## 島田氏榮轉

久原鑛業社中山鋼店所長島田利吉氏は今回同社營業課長に榮轉したるを以て七日朝入城同日午後六時より朝鮮ホテルに於て留別會を催し在京知人の主なる者を招待せり因に其の後任は次席椎名氏

## 栗田中將來朝

出征中の第十四師團長より今回東京衛戍總督に榮轉せる栗田直八郎中將は西伯利より歸還の途十二日午後六時四十分來城一泊の豫定なる旨某所に通報ありたり

## 四校長出張

京城中學校長柴崎鐵吉龍山中學校長磯島弘八大田中學校長關本幸太郎小學校長赤木萬二郎の四氏は釜山に於て開會さるべき中學校長會議列席の爲め六日附往復十日間の豫定を以て出張を命ぜられたり

## 溫故會組織

在京城貴衆兩院議員及び前兩院議員を以て溫故會なる社交機關を組織し今後毎月一回例會を開き懇親を結び一方には時事問題を研究する事となりしが幹事は月番六日の夜ファミリーホテルに於て第一回會合を開き朝鮮時事問題につき講究せり出席者は牧山代議士津田大久保高橋木尾佐瀨佐藤朝倉の前代議士にして十一時散會せり次回は來月中會し貴族院議員水野鍊太郎松平直平兩氏の入會も之れを求むべしと

## 村地氏東拓入社

仁川府尹を退官したる村地卓爾氏は八日附參事として東拓に入れるが當分東京本社に勤務すべし

## 殖銀仁川店長

殖產銀行仁川支店長岩崎氏退任の結果同支店長は當分本店營通營業課鹽川孝吉氏之を兼ぬる由

## 商銀支配人更迭

商業銀行支配人豐田明敬氏病氣のため辭表提出の事は既報の如きが行に於て之に對し六日夜東上中の水野政務總監より後任として殖銀行仁川支店長岩崎虎次郎氏を推薦する旨同行に入電あり八日豐田氏と岩崎氏は商銀に出頭し同行長より左の如き辭令を受けたり

朝鮮商業銀行支配人 岩崎虎次郎
支配人を免す 豐田明敬

尙ほ豐田氏は十一二日頃出發三重縣に歸郷すべしと

## 會計課長代理

總督府會計課長菊地嘉男氏不在中同課勤務事務官湯村辰次郎氏に對し五日附課長事務取扱ひを命ぜられたり

## 印刷所長兼任

菊池氏 總督府會計課長菊地嘉男氏に對し五日附總督府印刷所長兼任を命ぜられたり

## 山道氏歡迎宴

京城商業會議所有志は目下滯城中なる衆議院議員山道襄一氏を九日正午朝鮮ホテルに招待し歡迎宴を催すべしと

○鮮銀券日報 五日鮮銀券發行高左の如し

| | 千圓 |
|---|---|
| 發行高 | 一五三、五三八、九四 |
| 保證準備 | 九四、八八九、一三 |
| 限外發行 | 四四、八八九、一三 |

### 人事消息

▲ロビンソン氏（聯合國技術部委員英國代表者）內地視察中の處十日頃釜山着歸路の豫定
▲ホリピヤ駐日公使夫妻 七日朝天へ
▲兒島惣兵衛今官 七日朝發內地へ
▲垂水陸軍少將（東京兵器廠長）來城中の處八日朝發內地へ
▲神村正誠氏（朝鮮軍參謀）十四日朝著任の筈
▲松平直平子（東拓理事）東上中の所十日頃歸城の豫定
▲安武直夫氏（總督府文書課長）六日歸任の筈なりしも都合に依り八日歸任の事となれり
▲島田利吉氏（久原鑛業會社營業務課長元中山銅店所長）七日朝甲山より入城八日朝東京へ向け出發
▲城崎隆三氏（滿鐵販賣課長）八日退城
▲名古屋市會議員西伯利鮮滿視察團七日夜入城巴城館に投宿十日退城の筈

## 懸賞川柳

劍花坊先生選

京城 能眼坊
大馬鹿を邪氣と云ふ美しい
青葉町 土目館
大馬鹿を握り持ち 宇立坊
鎮南浦
町內の一番馬鹿を握り持ち 宇立坊
大馬鹿の忠僕が出る新派劇 永樂町 風來坊
山東を々さて煽てられ 若草町 非哉
大馬鹿と氣のつく頃は禁治產 大邱 不知坊
大馬鹿を父の名僞人と云へ

## 財界閑話

通信機關の澁滯は財界事業の不振は既に定評ある如く局員の待遇不良から來てゐる、遞信局に對する擬難の聲が外部許りでなく內部よりも盛んに起りつゝある是等の改善は當局者の三省せねばならぬ點であらう▲當局は三省も六省もして居ければど要するに不府で所要豫算を見ぬから止むを得ぬのだと甘えてゐるらしいが、それも程度の問題で必要な最小限度の豫算なも收り得ず內外より挑戰の擊に包まれるのは少なくも有能とは云へぬ▲之れ職を賭しても豫算問題を論議するだけの熱心が當局にあるかどうかを疑はれてゐる點だ▲局員の要求は歸する所他事も忙しいのだからせめて他官衙並みの待遇に與かりたいと云ふのである、その爲には無理もなし、法外でもない、當局は他官衙並みに局員を待遇する事を第一歩として努力して欲しい▲かく見來れば其の他の事業の改善は實に前途遼遠のやうだが先づ通きより始めて而してすべてに及ぼして貰ひたい▲此の際から初めた特別手當とか何とかの名義の如きその給與額が一人當り一月一圓足らずと云ふのだから現業員を失はすのも必らずしも失當でないやうだ

## お正月のお料理

自宅に居ながら正月用の料理が覺えられる 作法と裁縫も同時に覺えられる

▼女子の本分 女は料理と裁縫が上手で禮儀作法を辨へて居れば充分である。殊に食品騰貴の今日、安い食品を美味しく滋養ある樣に調理することは、一家の經濟上にも、保健上にも、亦必要の事で、女は必ず覺えて置かねばならぬ。
▼板垣絹子主宰 の東京割烹講習會は、夙に此の點に留意し、早くから『家庭料理講義錄』を發行し、各專門大家をして料理と、裁縫と、禮儀作法とを、何人にも解る樣に親切に平易に講義せしめ、毎月講究會員に分ち居る故、同會の會員となれば、居ながら料理と裁縫と禮儀作法とに通じ、壹ケ年にて卒業證書が貰へるので、學校に行つたと同樣である。
▼新學期開始 同會は目下新學期を開始し、會員大募集中にて、正月用の料理、儀式作法等を編纂せる正月號は既に
…正月號內容一般…
▼新年宴席料理 ▼簡易宴席料理 ▼お勳匙の料理 ▼きんとん製法 ▼新年客用料理 ▼正月菓子製法 ▼懸賞簡易食堂 ▼和洋料理要訣 ▼其他新年用料理蒐數
▼新年家庭料理 ▼三ケ日の膳部 ▼正月會席料理 ▼新年西洋料理 ▼手軽西洋料理 ▼皮蔵所年宴會 ▼普通禮儀作法 ▼食物の利用法
▼入會手續 は簡單で『ハガキ』に『講義錄送れ』と書いて申込めば、直に會員に加へ、毎月會冊研究講義錄を送り、會員は遂木後何月其地の郵便局より集金に行く故何の手數もなし。
▼會費 壹ケ月分五拾錢なるも、此際前金にて拂込めば壹ケ月分金四拾五錢。半年分貳圓七拾五錢。壹年分五圓參拾五錢に割引し、猶壹ケ年分の會費前納者には『パン製造法』を進呈す。
▲說明書進呈 內容說明書入用の方は京城日報新聞廣告に依る旨申越あれば無代進呈す。

東京市本郷區元町 株式會社 東京割烹講習會 振替東京九四〇〇番 電話小石川六〇〇番

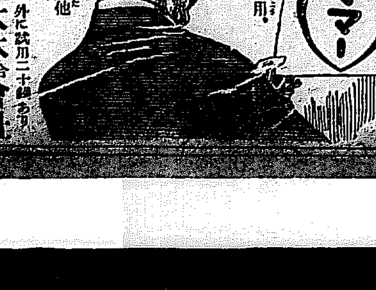
## 貝杓子御賣出

福岡市博多杓屋町 サヨタ商會
▲見本御入用の御方は郵券四十錢御送附相成度▼

## たんせき

ここに、うまくて、よくきく 呼吸器保護の爲めに何人にも必要！ 美音滋養の良藥あり
ドロップ入 水あめ製

▲ママー は痰を切り咳を止め咽喉を滋し聲を良くする美味い藥菓子で藥嫌ひの人や老人小兒は勿論萬口に適し且つ極便なれば外出、旅行、遠足、觀劇、宴會、演說、歌曲、對談、煙草代用、執務中等何時用ゐても頗る妙なり
▲あめのママー の主藥は前記ママーと同一なるも兼て礎原料の精製水飴はマルトーゼデキストリン等より成りて專ら滋養に富むもの故長期の痰咳喘息及び病後、老衰其他一般虛弱衰弱者の持藥に適當す
藥價（右二種共）三十錢、五十錢、一圓 外に試用二十錢あり
發賣元 東京神田鍋町（振替東京四〇） 大阪淡路町（振替大阪七九五） 大木合名會社
◎到る所に販賣店あり、商標及びママーの文字に御注意祈要




## 一般貿易 委托販賣業

南鮮貿易株式會社 釜山支店
釜山府本町四丁目
電話七七九番 略（ナフ又ハ（ヰ））

# 倭城の月南山の雪七年馴染みし
# 京城を見捨て
## 南に去る金谷府尹
### 私人としても溫厚圓滿の紳士
### 大京城の育成に努めた人

長い間お馴染だつた京城府尹金谷充氏は今回突然馬山府尹に轉任する事となつた、氏が京城府尹に就任したのは明治四十五年四月爾來滿七箇年餘の永い歲月を市民は圓滿老練なサバリの好い良府尹として朝に夕に親み來つたが最早氏の

**圓熟した** 式辭朗讀や挨拶の辭を聞く折もなくなつた。訣別の爲めに府尹室に氏を訪ふこ『永々御厄介に成りましたが愈々お別れする時が來ました、ヤ最う老朽の吾々が永く職を濟して居るのは後進の進路を鎖す如なものだが未だ〳〵自分は國家の爲めに老後の

**一身を捧** げて居たい希望なので唯不肖膩慮はあつても呼吸の之に伴なはないが殘念です、京城に永く御厄介になつて居ながら何一つ仕出來した事もなく此儘去るのは遺憾の極みです』こ眞に去るに忍びないやうな表情を現はしたが京城を去るに臨んでの

**感想を叩** くこ『何せよ私が赴任當時の京城は隨分淋しいものでしたヨ人口こそ約六萬あつて方今こ非常な差もないけれども總て設備の點に於ては大分缺點が多かつた。現在では府民こ當局この諒解も出來て何事も圓滿に

**協調して** 行けるやうになつたが當時は人氣も荒く徹底せぬ點も多く今日から想像する如なものでありませんでした。私が在任中の變遷も夥しいものですが京城が朝鮮の首府こして完備するのは今後です、目下計畫中の諸施設が實現される曉には、

**府の面目** も一新する事でせう、私は府民の爲に考へる事は人後に落ちませんでしたが何等の功績も擧げ得なかつたのは深く耻る處です、去るに臨んで衷心から京城の眞面目な發展を祈る而已です』

## 新府尹
### 帝大獨法科出身 熱心な事務家

忠清北道第一部長から京城府尹に榮轉した齋藤鑑三氏は出生地は熊本縣、明治七年二月十五日生れ、同卅四年東京帝大獨法科の出である。事務に熱心な溫厚な好紳士で家庭は吉子夫人(五一)この間に長女幸子(二一)二女武子(一〇)三女晴子(八)の三孃がある

## 故元帥
### 寺内伯の五七日
### 增上寺に營まれた

七日は故寺内元帥の五七日に相當するを以て嗣子壽一氏は親族並に故元帥の舊親故舊及び親任委員等數百名を招請し午後四時芝公園增上寺に於て法要を營みたり同日堀尾管主以下衆僧の讀經に次で會者の燒香あり終りて一同を逐次精養軒に招待し晩餐會を催し故人を記念したり（東京特電）

## 飛行家ダ氏の子息來る

羅馬東京間飛行に就てダヌンチオ氏が參加するこかせぬこか噂高まり居れる折柄同氏の子息ダヌンチオ、ナレーナ氏(二七)は六日午後入京目下帝國ホテルに滯在し居れり（東京電報）

## 惡感冒に襲はる
# 龍山の歩兵兩聯隊
### 市中に散發蔓延の徵あり
### 昨年より輕微なるも依然肺炎併發
### 電車の中が最も危險

龍山にては本月一日より市中に流行性感冒散發したるが其後漸次蔓延し俄然歩兵第七十八歩兵第七十九の兩聯隊を襲ふに至れり聯隊にては未だ肺炎を併發し

**危險症狀** のものあらざるも軍人軍屬家族中には肺炎を併發臥床せるもの尠からず七日には流行性感冒の黑き手は小倉大尉夫人を死の世界に拉去し同日午後には宮崎少佐の馬丁某を斃し大恐慌を惹起せり今其の原因經過並びに處置を聞くに歩兵第七十九聯隊にては數日前より流行性感冒

**營內を襲** ひ目下罹病者百三十名に達し內入院八名あり病者の症狀は概して輕微にして特に危險なる合併症狀を來すもの尠く昨年に比較して極めて輕症にして蔓延の狀況も亦緩慢なるも一日に三十名宛の新患を出し居れり又歩兵第七十八聯隊にありては五日より患者續發し目下患者百五十名內外に達し內

**入院六名** あり是も一般

又市中に 於ても惡感冒散發し漸く蔓延の兆あり鐵道局及び龍山開業醫も多忙を極めつゝあるが肺炎を併發しては全快容易ならざるを以て此際感冒に罹りたるものは早期診察を受け出來得る限り人込の場所に出入せざる樣注意すべく電車等に乘らざるやう注意すべし流行性感冒の感染は電車內最も危險にして凡大なれば止むを得ず電車に乘るものは口覆等を用ゆべしこなり

### 早期發見

に努め早期受診を斷行し稍可能と見るべきものには入院の手段を取り是が爲め一日に朝夕二回診斷を行ひつゝあり聯隊一般の兵員に對しても日に鹽含嗽を勵行し被服寢具等の日光消毒を施行し罹病者の隔離に努め多少なりこも蔓延を防止せんこ努め居れり從來聯隊にては流行感冒に對する處置こして師團司令部を始め各隊附軍醫は日々不眠不休で豫防に努力し患者の衛生を監督せしめ外出等に依り營外より持來り次いで營內に擴がりたるもの多く疑似症すら無かりしを以て嚴重なる豫防を行ひ室內の淸潔に注意し專ら豫防に努め多少なりこも蔓延を防止せんこ努めつゝありと

# 意氣揚々たり
# 天狗連の狩獵
### 山のやうな獲物 虹のやうな氣焰
### 狩獵大會の成功

朝鮮獵友會主催本社後援の狩獵大會は豫定の通り昨日曜に京義線一山驛以北に於て行はれた。會員何れも必勝の成算を描きつゝ前夜來任意の場所に向け出發して山崎氏の物聞遠征を最長距離こして

**各自得意** の場所を漁つて奮鬪大いに努めた結果、歸途の狩獵列車內は一行の成績を物語る獲物の山を成し、例に依つて功名失敗の天狗話に車內破れん許りの賑やかさであつた。而して一行の成績及び紅白勝負の結果は車內に於て發表されたが當日第一の功名を現はしたのは

**山崎氏で** あつて雉四十羽こ云ふ獵界のレコードを破つて賞狩及得點の兩一等賞の榮冠を得本社寄贈の金メダル及獵友會の金メダルは共に同氏の手に落ちた。早野、和田、小林(鐵)、小林(千)吉田、森の猛者亦何れも好成績を得たが前回一等の榮冠を得た日瀨氏が十四等に這つたのさ

**紅白勝負** で雪辱を期して居た紅軍が奮鬪の甲斐もなく遂に返り討の憂目に遇つたのは聊か哀れを催さしめた。尙ほ當日の殊勳者に和田ドクトルあり獐を射止めて御氣嫌斜ならず獐は同會から總督への贈り物の中に加へて同夜直ちに總督邸へ屆けた。尙ほ同會長へも獲物を贈り會員一同

**意氣揚々** こ南大門驛に著いたのは午後七時であつた。當日の殊勳者左の如し

▲賞射一等及得點一等山崎(本社寄贈金メダル) ▲二等小林(千)(本社寄贈銀メダル) ▲三等森(本社寄贈銀メダル) ▲四等吉田 ▲五等小林(鐵) ▲六等早野 ▲七等齋藤 ▲八等エバンス ▲九等和田 ▲十等木本

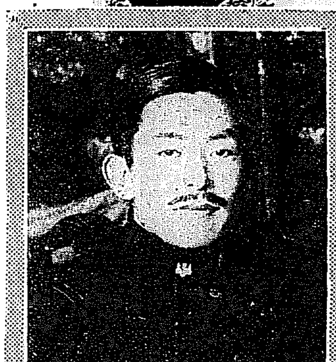
### 全協等の罪名

去る五日京畿道第三部より一件書類こ共に檢事局に送致せられたる全協等の罪名は脅迫罪及び陸軍刑法違反、監禁罪なりこ

# 禪堂生活 (四)
### 人間の改造

**庭詰** (二)

雲水の內には二三面識の人もあつた。朝食に訪ねて呉れたので庭詰の具合やら日過の樣子を敎へて貰つた。午前七時の時鐘が鳴る。知客寮(外交部長)がお茶を持つて來て隨意に出立せよこ愛想もなく言ひ渡す。サア！愈々是れからが庭詰だナーこ覺悟はしながらも六七貫もあらうこ云ふ複子(色々の所持品を入れたもの)を前後に掛けて二三日の間腰掛けての座禪三昧……かこ思へば情なくなる。然しこれが大事な入學試驗かこ思へば元氣も出る、門際まで後戾りして庫裏の玄關から『頼みませう―』こ呶鳴て見た。すると內から『ごうれ』こ云ふ返答があつたが私の耳にはそれが險呑に聞えた。卽ち法の如く住所姓名授業寺や師匠の名を述べて掛錫を願つたが無愛想にも謝絕されてしまつた。それで私は已むを得ず默つて俯面たま、玄關に腰掛けて庭詰をした。犬がそつこ顏を窺ぎ、散歩歸りの人々は不思議さうに立止まつて眺める、旅の乞食にでも連れられて來た娘の子はお父さんが惡い子するから叱られたんだ。モウ惡戲しないこよネエこ同情して呉れる。若しいやら可笑いやらモウ誰も居なかつたナーこ思つて居るこ怒鳴つて鬼こはこんなものを云ふのか知らんこ思ふこ悲しもなつて來る。夫れが一日の中に三四回も繰返される。三度目の時にはこう〳〵門柱に額を當て、泣いた。そしてモー到底も叶はぬ一層止めて歸らうこ石段を一つ二つ下りて居ると師匠から聞いて居つた白隱和尙が正受老人を尋ねて信州の山奧に分け入つた時。雲の庵に案內を乞ふこ六十路の老婆が出て來て『吾汝に掛錫せんこならば先づ吾汝を試さん、汝若し我が問ふ事に答へ得ば掛錫を許すべし』こて一つ問を發した。流石の白隱もグット詰つて眼を白黑さして居るこ老婆は此の飯袋子がこ火吹竹を以て打出しに來た。白隱は詮方なく軒下の雪上に端座して居ると老婆は手桶を提げて來て白隱の頭から水を三回まで注げた。白隱は我意を殺して猶も端座して居り遂に老人に許されたこ云ふ話である。私は之れに氣を勵まして又もや勇の住む庭に足を入れたのであつた。



得意の人？ 失意の人？

〔上より〕金谷新馬山府尹、齋藤新京城府尹、吉松新仁川府尹、宮館新群山府尹

# 靴職工の盟休
### 賃金値上げを要求す
### 組合側の態度強硬

京城靴屋組合に屬する內鮮人靴職工百六十名は一日頃から賃金五十錢値上を要求し同盟罷業を決行し居れるが當時の職工側の主張は現在靴

**一足分に** 對して二圓の給與を受けつゝあるも物價騰貴の今日此の給料にては到底生活困難なるより一足分二圓五十錢に値上すべしこ云ふにあり組合側にては右の通告を受くるや三日役員會を開き善後策に付協議したる結果職工側の

**主張を諒** さし二圓二十錢に値上げする事こし直ちに職工側代表者こ會見し此の旨通告したるも職工側は一も二もなく拒否し居れり

**更に紛會** を開き組合側は七日

### 職工獎忠壇に集合
### 說諭の上解散

京城市內靴職工四十名は七日午後二時頃獎忠壇に集合し賃金値上に就き協議中なりこ聞き本町署員出動名馳せ付け說諭の上解散せしめたり

## 張德秀來る
### 監視頗る嚴重

上京した呂運亨こ行を共にした張德秀は七日夜入城目下不逞思想の實際者こして其筋の注意人物たるだけこ監視も嚴重で所轄本町署では出入りの人物にさへ一々注意して居る不知火旅館に訪ふべく話を掛けるこ張德秀自身が電話口に出で流暢な內地語で『私の身の振方が定まらない中は何事も言へぬ』こ云つて居た今度の上京は僅かに一日遲れ其は何か大に御話す事があるにして居ます何れ大に御話する機會があるでしやう』こ張德秀は早稻田大學出身で北鮮人の中では在學當時から有名なもので東京で不逞漢の一味こして檢擧された事もある

## 小作人の不穩
### 部長の諭示で解散

本月一日午後七時頃郡二浦署管內清水面蓮井里外二里住民約百餘名は東拓農園の小作料徵收に對して二浦署所在驛前の出張所に押寄せ騷擾を加へんこするの報に接したる二浦警察署長は直ちに部下一同を引率して現場に急行したるが果して多數の住民集合して今にも暴行を加へんこしたる折なりしかば直ちに之を諭し懇々こ說示せる結果彼等小作人等は大いに諒解する處あり直ちに解散したるが其後は別に何等の異狀なく平穩に經過しつゝありこ

### 汽車乘込檢疫
### 十二日限り廢止

虎疫豫防の爲め新義州驛及び同驛間に於ける臨時防疫所撤廢後釜山間列車に巡査を乘込ましめ檢疫に從事せしめつゝあるが鮮內の虎疫も目下大體終熄に至り其必要なきに至りたるを以て十二月七日限り之を撤廢せり

### 轢死こ重傷

七日午前七時半頃京元線平康月井里間に於て鮮人男一名又同日下前

海鳥致院驛構內にて鮮人男一名轢死し又京義線力浦大同江間に於て鮮人男列車に觸れ重傷を負ひたり

### 電車の火災

京城電氣會社の荷物電車第三號第八號は去六日午前十一時半頃舊龍山より練兵場方面に向け二臺を連結し電柱枕木を各車に十二本宛積載し元町二丁目四番地先を運轉中車臺に裝置しありたるリオメットより發火し車臺床板約三尺四方を燃燒したるより附近の者馳せ付け直に消止め其他に被害なきを得たるが原因は過電の爲めなりこ

### 全線停電

八日午前九時二十分より同三十分迄全線に渉り停電せし爲め電車は何れも立往生の態なりき

## 釜山支局
# 新築披露宴
### 官民百數十名を招待す
七日夜鐵道ホテルで

本社釜山支局新築披露宴は七日午後六時を期して驛前鐵道ホテルに於て擧行された。會場こ相對した新築支局では軒高く日章旗を掲げ玄關口には京日毎日の兩社旗を交叉しバラック及び階上階下の軒端には眩い許りの

**裝飾電燈** を點じ美々しく新裝の姿は往來の人の眼を惹き立てしめる。會場に當てられたホテルは朝から設備に取かゝり約百八十名を收容し得る大廣間二室を打拔き天井裏は色美しい萬國旗で彩り其間に京日毎日の小社旗許多を懸け連ね正面には約五間に亘る

**踊舞臺を** 構へ萬端設備遺漏なきを期した。定刻六時に至るや實業界の宿老大池忠助、香椎源太郎氏先頭に官邊では本田府尹松井稅關長其他鮮人側では東萊郡守を第一著こして實業家秋乃吉良根を嚴ゥに內鮮官民百數十名の席。七時一同食堂に着席した

**趣向に基** き中央の卓子を釜山に見立てそれを圍む卓子は本社及び支局所在地の京城、大連、東京、關門、安東縣、哈爾賓、大阪等に形取られて客の着席するや社長一場の挨拶を述べ來賓代表こして本田府尹の謝辭あり

**直に開宴** しホテル改築以來の試み、アノ、ヴアイオリン等の合奏を始め蓄音機伴奏其他の演奏あり宴酣なるに至り [illegible]

### 花の如な

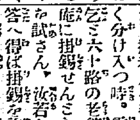
釜田驛頭の賑ひ [illegible] 十時過ぎ散會した

### 自轉車泥棒

住所不定 [illegible] 去月十八日京城 [illegible] 自轉車を盜み [illegible] 本町署に [illegible]

### 鶴松會淨瑠璃

去月 [illegible] 京城 [illegible]



### 時の頃

▲遊戯の場合なぞ [illegible] なし人手が足りぬので困つてゐる所が甚だ多い ▲電話交換手も其一例で此頃の能率減退は非常なものである、常備消防隊も一人の定員が三四十も缺員だから火事の節に入つたら心配だ ▲測候所も亦御多分に漏れず所長が觀測もやれば報告、記帳もやるので非常に困つてゐるだ ▲勞務課內のコートで課長が此頃の寒空にも怯けず盛んにラケットを揮つてる、主將は白上高等、卜部侯安丸山事務など、篤と其調子は元氣…

**小倉大尉夫人逝く** 步兵第七十九聯隊第一大隊中隊長小倉大尉夫人は流行性感冒に罹り重病中の處急性肺炎を併發し七日朝永眠したり葬儀は八日午後一時自宅出棺執行したり

**製作所給仕募集** 市內太平通李王職所管美術品製作所にては給仕及徒弟の募集中にて普通學校卒業程度の者を採用する由にて成績良好の者は男女を問はず一年內外にて見習事務に登用し改めて待遇を厚うする由但し初給六十五錢位にて別に年二回の賞與ありこ

…あの廣い場所一ぱいに溢かせたのは流石々々。


## 演藝案内

**大正館** 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 當る五日より特作特選大寫眞提供 ◎近寫醱案の製法 長尺 ◎米國インターナショナル會社特作 滑稽西坊と犬の愛 長尺 米國アートクラフト社傑作最近輸入 ダグラス、フェアーバンクス氏がドライアンゲル會社から轉じて後始めて撮影せる珍寫眞 …出たり這入たり

**壽館** ◎大正十年十月替切大阪七手組の騷動 ◎壽闘右衛門 全五卷 ◎日蓮上人 ◎古川猛…

**浪花館** 電話二六〇 八日晝夜 浪花節 吉田奈良丸一行 …

**喜樂館** 本町一丁目 電話九七一 十二月五日より特選映畫提供 ◎西部活劇 マルクスタンダー …

**黄金館** 電二六三 黃金町 京城 今日より本年最終の特別大寫真 ◎鬪 ◎稻生武太夫 …

**怪力鬼勘兵衛** ▲チエリーの覺醒 ▲空中飛行船

**日本照電** ◎日本照電器械發賣 日本照電器製作本舖 神戸三宮町一丁目 電話長三宮二一七八三 振替口座大阪四九七五八 ◎特約店募集

**アナタの胃病にマーゲン** 強胃消化錠 本劑の特色 … 大阪市東區上本町五丁目 田畑保健藥房

**京醬油は** 何故によく賣れるか？ 値段が安くて品がよい！

**はらにカタマリが** 出來又は子宮病手術せずに治る …

**丸登足利織物會社** 最新式セル袴 三割廉價 … 徳用な組合せ反物 丸登織物會社は年額數千萬圓を産して本邦唯一 … 三品一組拾圓 三品一組拾貳圓 三品一組拾五圓 …



## 連絡船上陸客

一郎、本田恭良、池邊諮生、外人李、磯貝武次、海藤雅夫、同松子、島榮吉、佐々木鶴八郎、八巻こし、等八名 二等(七五名)田中松二、渡西畑實雄、高橋龍雄、多野節夫、松井ゑみ、大井まさ、同篤、西 一等(七名)松垣 [illegible]


天氣豫報 晴一時曇

日出 七時三十四分 日入 四時五十五分 [illegible]

# 第五版

## 噸扱の廢止と小賣商の打撃
### 白米高も之に原因す

昨今又騰貴の途に六十錢の高値を出さんとする仁川小賣り白米の奔騰原因は一般の人氣に然らしめしものあると雖も十一月十五日以降鐵道運賃の改正に伴ふ噸扱廢止は當業者に少なからず打撃を與ふると共に又白米値上げの原因なりと稱さざるべからず從來大なる米穀業者に非ざる小賣穀物商の如きは重に噸扱の方法によりて地方の買付輸送を爲しつゝあり一車扱ひに依る即ち貸切積みは多くは移川其他定期米等の大口取扱ひ者のみに利用せられつゝありしに今回噸扱ひ廢止と共に小賣商人の地方買付は絕對に不可能の狀態を餘儀なくされ今日に於て若し地方買付米の輸送を爲さんとせば頗る割高なる

**小口扱**に依らざるべからざる事となりさりとて大資本を擁せざる商人にありて一車積輸送を爲すほど多量の取引は不可能に屬するを以て空しく例年に見る地方奧地の買附を爲す能はず僅に市場に到著せる玄米を市場の時價によりて買取るの外なきに至り遂に小賣白米は現今の如く頗る割高を唱ふるに至れるものなりと云ふ若し從前の如く

**噸扱制**の今日も存在するあれば小賣商側に屬する穀物業者は市場の時價に比し更に格安なる地方の買附を爲し得るを以て從つて小賣白米の如き幾分狂騰を緩和し得べきは言を俟たざる處なりしと今其の噸扱ひ廢止によりて如何に當業者の困難を感じ穀類の廻送を阻害しつゝあるかを調査するに本年一月以降十月迄の噸扱ひに依る仁川廻殼は實に三千五百五十八噸にして一ヶ月平均三百五十噸を算し之を石數に換算する時十ヶ月間に於て二千三百餘石に達せり之を以て見れば一ヶ年間には優に四千五百噸石餘三千餘石の廻漕ある見込にして車扱ひの約一割一分七厘は此種噸扱ひに依りしものなりしを知るを得べし而して運賃

**改正後**は此の取扱ひ制は恐く斤扱ひに依らざるべからざるに至りたるが此の運賃の差額は假に仁川への廻殼最も多しとせらるゝ定州及び平澤に就て見れば舊噸扱ひ一噸に付定州仁川間運賃五圓五錢六厘發著手數料廿錢に過ぎざりしもの斤扱ひに依る一噸當り運賃は實に倍加し十一圓七錢七厘之に六十八錢の發著手數料を要す又平澤仁川間の舊噸當り運賃は二圓之に發著手數料二十錢然るに現今の改正制度によれば三圓六錢及手數料六十八錢を支拂はざるべからず以て現今の小口扱ひに依り得べからざるは當然の事に屬す

## 江原道知事訓示（二）

世上或は一視同仁の大義に就き猶疑ふ者ありと聞く蓋し政治の妙諦は克く時代及人心に順應し文物の進步に伴ふに在り將く民度に應じ適當の施設を爲すは啻に已を得ざるのみならず是れ實に朝鮮を内地と同等に開發せしめむとする趣旨にして一視同仁の大義に遵ふ所以なりとす翼に官制改正に際し發せられたる總督の訓示並に論告は各位克く之を體得して趣旨の徹底に努められつゝありと信ず案するに之か精神亦時運の推移文物の進步に鑑み一視同仁の大義に遵て民衆の福利を增進し益公明正大の政治を行ふに在り既に各般の行政に關し改善せられたる事項又は之が改善に付研究中に屬するもの少からず新政の治績着々として實現せられつゝあり又一視同仁の大義に付些の惑を要せざるなり然るに地方民にして往々官制改正の趣旨を誤解し徒に官府の施設を云爲し政治の實際を解せざるものあるは洵に遺憾とする所なり各位は論告訓示の趣旨を體し郡治上新生面を啓く心算を以て民心の嚮背に留意し其の疑惑を解き以て民心の安定を期せられんことを望む[illegible]

## 際限無き物價の騰貴と消費組合
### 大連にて企畫せらる

内鮮人同治の根義を知らしめ温情以て相交通する風を馴致すると共に可成聯合の機關を設置する勸奬し特に地方有識者の如きは常に相互接觸の機會を與へ彼此親善を計り以て一視同仁の聖旨を徹底せしむることに期せらるべし

滿鐵會社にては此底止するなき物價の昂騰に數次に亘る社員俸給も殆ど其効を奏するを得ず已むなく這次の給與規程大改正を見るに至り且消費組合設置されて茲に初めて漸く生活狀態の緩和を得たる次第なるが

## 關東廳に於ても

關東廳管下吏員に對し毀同の增俸を行ひたるも此無節制なる物價の昂騰に何等生活狀態の改善を見る能はず、殊に滿鐵に於て這回給與規程の大改革を行ひたるを以て、兩者の給與率に頗る懸隔を生ぜり而して現下生活の窮迫を感じ居れるは敢て下級者のみに非ずして

## 今は高級者と雖

同様の狀態にあり關東廳にても制度の根本的改善を爲すべく目下計畫中の模樣なるがソレ迄の間は臨時手當

## 増給を行ひ支持

せん意嚮なるもの、如く目下之に對する調査中の由又一方既記

## 商人間にて反對

の如く給與の改善を熟慮するせしが如く給與の改善を焦慮すると共に其目的の貫徹に努めつゝあるより一部の間には反對の聲あるに係はらず購買會を設置せんとして目下之が計畫の進捗に努め居るを以て遠からず其開設を見るに至るべし（大連）

## 末曾有の銀高
### 思惑連中の失敗

安東縣市場に於ける銀價の昂騰は近年未曾有の事に屬し兩對価は三圓四十錢以上に達したるが安東の貿易家にして銀の思惑をなしたる連中には尠からぬ打撃を蒙りたるものあり就中某々三四

## ローリンク博士渡來
### 春川に病院設置乎

米國テンネッシー州ナッシュヴィル市南監理派傳道本部總務ローリンク博士外二名は十四五兩日春川に來り更に洪川華川を視察して春川に病院及び教會の新築計畫の爲め十一月二十七日春川郡廳に數回協議を爲し居りしが春川郡の病院敷地を決定し視察を了り歸春したるが十二月一日自動車にて京城に向け出發したり（春川）

**◎滿洲商銀と吉林**（安東縣）滿洲商業銀行は滿洲吉林に支店を設置すべく計畫中の處愈々十二月一日より開店の事に決し專務藤原泰一重役吉村茂の兩氏は一日吉林に向け出發したるが都合により開店期は兩三日延期するやも計られずと云ふ

## 釜山商人の仁川原鹽買付

南鮮一帶に於ける鹽の需用に對しては主として釜山に輸入さるゝ青島鹽を供給しつゝあるが青島に於ける鹽の移出制限に除儀なくせられて充分の需要を滿たす能はざるの事情あり爲に三千萬斤の制限輸出は更に追加せられて七千萬斤の輸入を見たるも尚不足を生ずるを以て釜山商人は仁川に輸入せられつゝある山東原鹽の買付を爲すべく仁川荷主に交渉中なりと云ふ鹽の需用に關しては東原鹽の買付を爲すべく仁川荷置場に之が貯藏場を設くるなど其の準備に著手せり仁川にありては奧地の供給過多或は鐵道輸送事情等に阻げられて塩價の不況を來し山東原鹽の如きも近く入港する戎克船持て餘しの態ありし今日、相當に需要あるべき所なれば釜山よりの買付は差したる打撃を生む事なかるべきも相當に需動きを見る時節に至らば又幾分の競爭的買入れを見るに至るべく從つて多少の影響は免れざるべし（仁川）

## 奉天より
### 若秀生

今春來滿洲に於ける會社熱の旺盛にして夜を日について會社の製造されたる事は其の都度本紙の報道せし處從つて株熱は素張らしき勢ひを以て猖獗に赴くと、株話、株、續いて株成金は各地隨所に簇出し其の鼻息は實に凄きものにて有之候、而して奉天最近の新界を見るに其の熱益々熾盛を極め居候
日く資本金一億圓の南滿洲興業株式會社を筆頭として、日く二千萬圓の勸業會社日く一千萬圓の興業銀行日く五百萬圓の取引所信託日く何日く何と殆んど

指を屈するに違あらざる狀態其の上最近傳ふる所によれば品取引所の出願あり又電鐵會社の出願目前に迫れりと傳へられ殆んど應接に暇あらざる狀態に有之候

惟ふに叙上の會社熱の事は熱旺盛なるは確かに滿蒙開發の重大なる責務は内外を問はず邦人に課せられたる所以に外ならざるべく從つて今後の情態は正に面目を一新すると共に更に支那人を誘致して以て所謂日支親善を具體化せしむるに至るべくと存じ候、既設未設を問はず是等多數の會社は必ずや形式上形示下に此目的を抱藏し且つ是れを具體化すべく目論まれつゝあるは吾人の信じて疑はざる所にて候、殊に近來滿蒙に於ける狀勢を觀るに土地商租問題に對しては滿洲外支那方官に令して其の速決を促せるあり又滿洲の米穀輸出に對して妨害策を表示する等頗る反抗的態度を表示せる他地方の排日排貨の聲盛んなるに比して同日の談にあらざるを認め日支親善に努力する多大なるに對し萬腔の誠意を表せずんばあるべからず斯くの如き時期に際し叙上の土地を基礎とする大資本の會社は内地の大資本家大實業家と在滿邦人との間に協定なり國家的使命を更に超越し人類相互の幸福を

利益を增進するの目的を以て計畫され實現せんとするは國家の爲め將た亦人類の爲め慶賀に堪へざる事と存じ候吾人は是れ等諸會社の前途に多幸ならん事を祝福せずんばあらず候
然れども顧つて思ふに滿洲並に蒙古に於ける土地經營を基礎とする會社にして眞に滿洲蒙古の開拓土地利用の促進を期せんとせば是等諸會社（土地經營就中水田經營を骨子とせる會社）が其の當初より聲明せるが如く一億圓若しくは二千萬圓或は一千萬圓等の大資本を提げて來り臨みて果して其の資本を消化し得べきや否やは頗る疑ひなき能はざる所と存じ候

## 上取の新計畫

鳥德一派は大株及び上取を基礎として近き將來に於て種々の新發策を運ぐらさんと畫策し昨今謀略を講じつゝある形勢なるが目下の新計畫は先づ上取を十萬として差當り一仕手を策さんとするもの、如し則ち近く機を見ひて未拂込を濟ますと共に一躍五千萬圓以上の資本に增加し支那人側の對信用程度を增加せしむる具とする一方大株との對抗を見るなるもの、如く時に已に關銀行たる日本信託銀行の設立と相俟つて大膽的活躍の第一歩に入らんとする傾向なりと

## 前途暗憺たり

軟調持續の昨今と人氣は深く迷宮裡に入りたるや觀あり、時際に投機熱抑制策として政府の方針及び銀行家の態度は益々嚴重を極めんとし先づ金利の引上を敢行し前途の悲觀を未前に防がんとする政策等は著しく投資家の懊惱を激しくして居る折しめし觀ありて而して時に歲末に際せる關係等諸種の事情は此の商狀を立直すに容易ならず市況を挽回し難しとも見られ種々の觀測をなす所謂しばらく頗る至るべき者の通りは至つて當初の策戰を更改せず徹頭徹尾大株新舊を操りて一仕事を爲さんとする事情の存するを以上如何なる變態的市場の出現を見るやも期し難く要するに前途極めて暗憺の狀を呈しつゝありと

## 新田耕市商店
大阪、竹原商店朝鮮特約店
公債株式現物問屋
京城櫻井町一丁目
電話五七〇番　二八二番
受信略號（ケイセッコウ）

## 北濱だより

大株仲買中で今期最も多額の手數料を取引所に納めた連中に就て一對し恒例に依り銀杯下附の光榮に浴する譯で其光榮の列に加はる者八名▲筆頭の石井は（手數料九萬圓以上）野村も同額▲次いで黑川、藤上の八萬圓以上、濱崎は六萬圓以上、芝の七萬圓上、松井の各五萬圓以上、池原加賀、江三は三萬圓以上の順序となつて居る▲上取は一日平均八千兩の手數料收入があれば

## 商況

## 株式

### 東京株式（八日第一立會）
至急電報

| 銘柄 | 前場 | 後場 |
|---|---|---|
| 東株 | 四五九、〇〇 | 一〇、七〇高 |
| 同新 | 四六七、九〇 | 一〇、〇〇高 |
| 商船 | 一七四、〇〇 | [illegible] |
| 同新 | 一七〇、〇〇 | 三、五〇高 |
| 一新 | 一四〇、九〇 | 一、一〇安 |

### 大阪株式
至急電報

| 銘柄 | 八日前場大引 | 後場大引 |
|---|---|---|
| 大株 | 四四〇、〇〇 | |
| 同新 | 四四三、一〇〇 | |
| 鐘紡 | 二四六、五〇 | |
| 同新 | 一三八、六〇 | |
| 商船 | 一六二、九〇 | |
| 同新 | 一四三、一〇〇 | |
| 鐘紡 | 四四一、〇〇〇 | |
| 同新 | 四二八、〇〇〇 | |
| 東紡 | 三一七、一〇〇 | |
| 東糖 | 一六七、〇〇〇 | |
| 堂米 | 一二〇八、四 | |
| 上取 | 一三一、〇〇 | |

### 京城現株（標準值段）

| 銘柄 | 拂込額 | 印賣 | 印下落 |
|---|---|---|---|
| 仁取 | 二五、〇〇 | | △一七、六〇〇 |
| 朝郵 | 二五、〇〇 | | 四二、〇〇〇 |
| 電興 | 二五、〇〇 | | 一六、五〇〇 |
| 皮革 | 二五、〇〇 | | 二五、五〇〇 |
| 東畜 | 二二、五〇 | | 一五、〇〇〇 |
| 朝紡 | 二二、五〇 | | 二、五〇〇 |
| 朝紙 | 二二、五〇 | | △三八、五〇〇 |
| 朝銀 | 二五、〇〇 | | 五七、〇〇〇 |
| 同新 | 二二、五〇 | | 一九、〇〇〇 |
| 滿毛 | 二二、五〇 | | 四九、〇〇〇 |
| 朝煙 | 二五、〇〇 | | 三一、〇〇〇 |
| 鮮土 | 二二、五〇 | | 一七、〇〇〇 |
| 東亞 | 二二、五〇 | | 一〇、〇〇〇 |
| 同新 | 二二、五〇 | | △一四、五〇〇 |
| 中鐵 | 一五、〇〇 | | 一五、〇〇〇 |
| 殖鐵 | 一五、〇〇 | | 一六、五〇〇 |
| 朝日 | 二二、五〇 | | 二三、五〇〇 |
| 安信 | 二二、五〇 | | 三六、〇〇〇 |
| 同新 | 二五、〇〇 | | 一四、〇〇〇 |
| 鐵證 | 二二、五〇 | | 一三、〇〇〇 |

### 出來高平均値

| 銘柄 | 時價 | 一枚數 |
|---|---|---|
| 安東信託 | 三八、五〇 | 一五〇 |
| 滿鐵二新 | 一四〇、〇〇 | 二〇〇 |
| 郵船新 | 一三三、〇〇〇 | 四〇〇 |
| 殖銀行 | 一二二、〇〇〇 | 一〇〇 |
| 東拓一新 | 三三、〇〇〇 | 一〇〇 |
| 東亞新 | 三五、〇〇〇 | 一〇〇 |
| 南滿製糖 | 四一、〇〇〇 | 一五〇 |
| 滿州證 | 四五、五〇〇 | 二〇〇 |
| 仁川取引 | 二七、〇〇〇 | 三〇〇 |
| 中央鐵道 | 一七、〇〇〇 | 二〇〇 |
| | 一五、五〇〇 | 二〇〇 |

## 仁取沖落步調

仁取株は各銀行が殆んど株券貸出し禁止狀態となれる影響として新規思惑買困難に陷りたるのみならず此際一應利喰して之れを年末決濟資金に充てんとする向きがあるを以て勢ひ賣物に仕手向き何分前記の如く金融更に付かずらに之れに飛付買ひを試みんとする者も赤少なきより相場は自然に下値付けとなり昨今百十七五六圓見當に下へ向るに至れり然も尚は玄人筋は年末接近と共に今一層の押目あるを期待せるもの、如く依然不氣乘りの態度を示し窃かに七十圓ドタ見當を狙はんとする振合ひあり

## 原田株式店
安東證券信託仲買人
安東縣市場通
電話七四番二六〇番　八六番四〇番

## 殖銀引締る

殖銀は最近百十一圓の入電に接し處の投げ物さへ誘致したるが休日前一圓方の引締りを報じて稍氣直り今朝來二圓五十錢の手合せを見たらが同株も愈々第四回拂込期日切迫と共に增資氣構へ濃厚ならんとする折柄此處は底値なるんか

## 東拓二新硬化

東拓株は既記の如く今期利益配當大さ共に一部株主間には八朱制限配當を破りて此際一割見當に增配すべしと主張する向きあるを以て目下折角懸案中に在る由なるが右は多分實現さるべしとの噂高く最近新く買狙はるゝに至りて一新定期六十七圓見當を維持し二新株のみにて相場も三十三圓見當の手合は重に當業者の狀態なるが當地の五十錢見當より現物五十錢高値五圓五十錢邊へ居れるが東京方面にては人氣一層良好なるもの、如く三十七圓五十錢賣九圓買のハガキ來店へ舞込み居れり

## 朝紡見直すか

去る五日三十四圓の入電に釜々低落を氣遣はれたる朝鮮紡織は翌日一圓高となり昨日に氣配は更に一圓方引締りて三十六圓見當の入電あり本日は未着ながら当の情報より推せば幾分見直したるには非ずやとも觀測さる

## 安東益々不勢

金融引締めの影響を受けて漸落步調に在る安東信託は休日前安東縣にては更に二圓方の低落を演じ三十二圓五十錢に打止め居れる爲め當地高値掴みの連中もいよいよシビレを切らしたるもの、如く兆々損失を見切りたる投げ物に三十六圓見當の手合せ行はるゝに至れるがそれでも尚安東縣に於ける銀價昂騰の値に上値を保ち割合に強硬なる同株こしては目下取引狀態より推せば增資は尚早の感あれど今後米取引所の開設と共に國境唯一の商賣を保たんとする期待ぞふも以上に增資する必要ありと唱ふる向あれば之れが具體化する暁きには面白き一相場あらんも今日の僧には昨今の頽勢を挽回する事は困難ならんかといふ

## 米況

### 東京期米特電
八日前場

| | | |
|---|---|---|
| 寄付 | 五一、五〇 | 四十七圓八十四錢 |
| 高値 | | 五十一圓十六錢 |
| 安値 | | |
| 止め | | |

### 大阪期米特電
八日前場

| | | |
|---|---|---|
| 寄付 | 五〇、九九 | 四十八圓三十九錢 |
| 高値 | | 五十一圓〇一錢 |

### 神戸期米特電
八日前場

| | | |
|---|---|---|
| 寄付 | 五〇、七〇 | 日後場 |

### 下關期米特電
八日前場

| | 當限 | 中限 | 先限 |
|---|---|---|---|
| 寄付 | 四七、五〇 | 五〇、二八 | 五〇、三三 |
| 高値 | | 五〇、四〇 | 五〇、五〇 |
| 安値 | | 五〇、〇九 | 五〇、四九 |
| 止め | | 五〇、一〇 | 五〇、二〇 |

## 仁川期米
### 八日前場（嫌氣投げ）

今朝天候晴天各地入電未着なるも休日前阪地の正安を移して立過ぎ反動の嫌氣投げを誘起し實物に食へば當出來ざるが中買物を注文來ずるの日先明喰ひに八圓十錢安に寄付十錢ことは不勢を示したれば先物四十八圓六十錢と四十九圓十七錢と寄付き返したるが日安の二十錢と追擊されに日先詰めが買ひに四十八錢と跳返したるが戻りは前の二十錢と押し物寢へずと二十錢と三錢と不勢裡に引
▲第二節　當限不申中五十錢と寄付五十錢と引締めしも場面九十錢と高移りを入れ三十錢と何となく頭重く四十錢掴みを持ち氣迷ひに引
▲第三節　當出來不申先四十錢と合ひ二錢と直物くに五十錢と氣迷ひに引
▲第四節　當中出來不申先八圓五十錢と始めしも阪地安丁度ちと始め小戻りに十九錢と十九錢と戾り待ちの買物に五錢と弱めば四十錢と
▲第五節　當出來不申中四十七圓四十錢と更に不勢に低く先限は目先手詰めと押目買の旺盛にて二十錢と寄付二十五錢と上伸せ

## 市場雜觀

各金融界の貸出警戒は財界をして一變さすと云ふ前兆とも云へば又集散市場に正米の出廻りを促すも必ずしも否定すべからず云はれ兎に角氣思惑者に對しは不利なる打撃なる事は事實にして期米の受渡し如き信用ある者にて買石三十圓と云ふから壹萬石の正米を受けるに二十萬圓なぞの間金を要する譯でも相場が高張る程方は苦しむ事に何に軟派がジタバタしたとて根本の農家が買借みて季節杯に拘はらず一萬石は愚か五千石の正米を集むるから他人の懐を當にした目先の相場は既に時期遲くも早や二十圓相場は前途を現出するの轉換期は現れの米の大勢三月頃迄なら現の四十九圓擱みは去れば當氣りに困難と云ふ寸が金融の爲め向け口のみか如何しては最近此の勢ひを躊躇するからで何とか方が發達を受くるの急に借人も古來より會て今の状況なる事を云ひたいものは今次は減少すると云ふも

値段　八日　高出來　一高値　一安値

| | 寄付 | 高値 | 安値 | 止め |
|---|---|---|---|---|
| 一節 | 四八、六〇 | 四八、六〇〇 | [illegible] | |
| 二節 | 四八、五〇 | 四八、九〇 | | |
| 三節 | 四八、二〇 | 四八、〇一 | | |
| 四節 | 四八、七 | 四八、〇一七 | | |
| 五節 | | | | |

八日出來高　卅二萬五千三百石
帳入値段　當限　四十七圓八十四錢
　　　　　中限　四十八圓五十七錢
　　　　　先限

## 棹尾の一振乎

西鮮米既に解禁の報に接し頭寄米又近かく同樣の發表を見んとする模樣なるも本國値の採算高による内鮮間市場の上に何等の反響なく内地定期の強硬に見込まれるんが為め時きに逆ひて依然大阪の五十圓臺を目標に寄居迄せすとは手強く寄つて強しは恐く一頭打ち大新甘の經濟の窮鬱するは愈々鮮内なけれは鮮人の强々之の期待なれば金融の緊縮を以て期し場を見限るの念强く各地の正米も出荷見込み數改正を捉らせざる未だ不充分のる事を爲す位は米の軟材なる出荷中には正米の手控をなす一二の處に乘じ今後來を損失の節が大不難にて如何なる形勢が生ずべきかを示むる事を得ぬ

## 布井仲買店
仁川米豆取引所仲買人
電話　三六四番　三二五番

## 氣崩れ跡小返し

しが戻りは地方筋の賣物に押しに打止めたり二十錢の乾に現合せ
一昨日場況は阪地高の刺戟を受け買氣旺盛を極めしも引際阪地の低め安を移しば今朝は嫌氣なれば仕手の投げに買方の機搶を喚起し買方の手合なり行迄入しに拍しは嫌氣を抑へ加る為大阪の四十二錢安一大手方の手持米筋を見ての手合ふ事あれど何人か四十八圓五十錢の入れに賣方の堅持を見せ筋合ありて事も遠からず反撃を擁して居るのみ手ならざる時は危險なる

京城正米市場

頭日來漸次軟調の振合ひとなり場正米は今日前場取引米の氣崩れを入れしに拘はらず買物埋一層減退の模樣なるが精米筋一齊買控への折柄にて格別入氣寄らず大田新玄米現物一車四十八圓九十錢白米一等石拔十二月中旬一車五十圓五十錢にて手合せ行はれたり

## 白米安氣配

白米は內地移出商談の久しく絕せる上元山方面又不引合ひに大手精米筋は地場に捌場を求めんとする模樣なるも近來小賣は極めて手控をなし續いて居る兩側に於て精米業を見受けたるを以つて之を反動して之れ自然精揚製製を行はんとし休止する日あるへある處今日の相場は見方によりて一層の低き事あるへしとの觀測なきは相場は見角原料の採算にて當に制安の維持を困難ならしむるに至らば事に依ては又相當高値を呼ぶ事あり料低落により漸く揚賃丈けは得らるゝ事となり更に又原料安を悲觀しては叉夫丈け採算を切詰むるに應じて此原料安の勢に順當ならば次第に原料を得んとする傾向あり市中卸値は

◎有價證券担保金融
價證券取引中仲買
京城黃金町
電話一九八／一八四五番
秋葉

## 不臈内底堅し

本品は相變らず買手氣乘り薄なりと難も昨今尚正米の先行き混沌の狀態を示し居れる折柄にて本品の前途に付ても未だ全然軟化し難き事情もあり安値に手持筋見送りの爲め不商内ながら氣配は比較的底堅く新當口現物一車二十圓にて一口出來せり

## 仁川正米市場

頭日來定期の軟弱を受けし當正米市場は相變らず人氣不引立ちこいへ內地よりは相當白米注文も頻繁を告げ地摺玄米は之が爲料として精米筋の買望多く四十六圓五六十錢にて小口商內行はれ三等合格米は內地不引合と定期渡米の買附見送りに頭重く商内更に行はれざるが如し

## 釜山正米市場

內地期米好調に連れ今朝市場は三等神力二十錢高を示し四十九圓二十錢穀良部は四十九圓六十圓と反對に二十錢安を告げ七千五百個出來せり

▲大豆は持合ひにて新物二十圓七十錢古京畿物二十七圓五十錢京釜物二十七圓にて千八百個出來せり（釜山特電）

## 綿布氣迷ひ

綿布は金融緊縮の餘影を受け來頓みに賣氣萎縮して惡角人氣引立たず市中仲間取引を始め地方質需節も總て見送りの方針なれば氣配は常に下げ足氣味なるも安値は又賣物乏しき筈にて一時先物二十六圓現物五百七十四圓迄落込み三エ・票も今弱け相々氣を持直し先物二三十錢手物二三四方の小戾しを見せ各手口共氣迷ひこいふ振合ひなり

## 下關米取引所仲買
## 桝谷米市
多少ニ不拘御注文被下度候
取扱可成御利益を計ります
下關第一銀行住友銀行支店又ハ
銀行へ御問合せ下さい


## 急告々々急告
### 毛布　暴落　買時
本毛製特別大判（防寒用優良品）
金三圓廿五錢（茶、灰、カーキ色）
既に御承知の通り歐洲大戰後毛布は暴騰に暴騰を重ね、製造元の悲慘なる状態となりしも俄に海外輸出の途絕え利加輸出の爲め價格は大暴落して需要者に對して今日迄の高價に引換へ、本品は一般品の品質にして一般家庭は勿論旅行家は勿論代用品として眞に必要品たり
ハガキで申込次第受付の上代金引換小包郵便で御送付致します
入用の方は御知らせ被下度候
東京神田株式會社東京毛織仲買店

メールオーダー商社
大阪市東區ウ瓜町
振替大阪三壹一八五番

本劑は呼吸器病專門醫學士宮田博士の創案になれる
痛、氣管支加答兒、肺炎、喘息等、凡て痰咳嗽に對する最新の良薬也、故に風邪、はやりかぜ、頭痛に試み論より證據を直に本舖に於ては極めて強烈なり
本舖　東京大阪　定太郎藥房

## 糖尿病
### 新發見　ラシング錠
糖尿病にて永年悲境に陷り種々なる療法を試みるも其甲斐なく又患者自身にも全治し得ざるものと觀念し適當なる療法を講ぜず遂に死を早からしむる者多き病なり然るに茲に新發見ラシング錠は從來の如き苦痛なく服用し得る新劑にして本病に特効ある藥劑なり
ラシング錠の服用法は本品說明書に依る
他糖尿病患者に適し得る食物及び調理方法を附す
東京　本舖
大阪市東區　取次所

## 大阪今延新聞新年增刊
### 大正九年米價豫想觀
本書は洽く米界名士の意見を網羅したる大正九年度の米價高低觀にして最後に勝利者たる成功者の意見を基礎として米價推移の一大論結は實に斯界商戰場裡の光明たらんか再び机上の寶典たるべし
定價　界必勝の目的は斯くして名士諸多の方針に依つて充たさるべく本書定價金壹圓寄贈版十數葉紙數四六判約壹百頁大册にして部數に限りあれば先着順郵券三錢代の附の各位に無代進呈期日過ぎ節は謝絕す就き即日申込まれ
大阪堂島米穀取引所仲買人
今井延太郎商店

## 麻、麻、麻、麻、麻
荷造用　麻、玉糸、麻綱
麻糸　麻縫糸、細引、疊糸、麻袋
布商　關西麻絲紡績株式會社製品大販賣店
京城太平通二丁目
田端商店
電話一八〇二番　振替大阪一四九八番

## 金儲はなんでもないもんだ●
### 第拾壹回成績發表!!▽益々成功

金貳千九百拾四圓を獲得し配當せり
一月十五日迄締切各組に對し賣買日十九日間に於て
金貳千七百貳拾八圓を獲得し配當せり
二月五日迄締切各組に對し賣買日十五日間に於て
金貳千四百八拾八圓を獲得し配當せり
二月卅一日迄締切各組に對し賣買日十三日間に於て
金貳千壹百拾六圓を獲得し配當せり
三月十日迄締切各組に對し賣買日十二日間に於て
金貳千〇拾八圓を獲得し配當せり
四月二十日迄締切各組に對し賣買日八日間に於て
金壹千八百四拾七圓を獲得し配當せり
五月廿五日迄締切各組に對し賣買日七日間に於て
金壹千六百四拾參圓を獲得し配當せり
六月二十日迄締切各組に對し賣買日六日間に於て
金壹千參百九拾五圓を獲得し配當せり
七月二十日迄締切各組に對し賣買日五日間に於て
金壹千壹百五拾五圓を獲得し配當せり
八月十九日迄締切各組に對し賣買日四日間に於て
金八百五拾五圓を獲得し配當せり
九月十八日迄締切各組に對し賣買日三日間に於て
金六百拾圓を獲得し配當せり
十月十七日迄締切各組に對し賣買日二日間に於て
金參百圓を獲得し配當せり
十一月十七日迄締切各組に對し賣買日一日間に於て

### 米株　全勝會
詳細は規則書を見て下さい申込次第無料進呈
全勝會
申込み
詳細は（新聞名記入）申込次第郵送す

▼海外並に全國各會員諸氏ご共に右の如き好成績を得し事を茲に慶賀すると同時に今後如何に發展し如何に御期待有之本會は暫て利殖の增進に努力すべく茲に再び謹告す

◎出來た!!出來た!!一大發見!!元金百圓で月百圓儲かる利殖法公開 ろ不景氣でもない只今低いが一年四十萬圓以上になる安全確實なる金儲けの秘法
◎勿論多言を要せず右記配當の如く實際に儲けて居るのが何よりの證據で無用他に正々堂々と數字迄發表したる通り各仲買店の通帳を示しあります
◎既往より今日迄現在に儲けつゝある高で迎へ證據ありますから了解が行けば加入なさい
◎右の如く示しまするから了解が行けば加入なさい
◎本會は斷じて營利主義に非ず只我が抱負たる理想を以て此福音を獲得し分配するにあり

▼辨償責任保證　出資金全損の場合は全部辨償す
▼時は今ぞ加入の絕好機!!
加盟金一口百圓以上五拾圓（申込至急）

有價證券賣買　金融及信託業
明治商會
大阪市北區堂島濱通一丁目四拾八番地
電話長北一〇六七番振替大阪二八五六九番

金を儲けたい人は金儲をさしてあげます

京城明治町二丁目江戸川横（電話六三三一番）
內科　小兒科
醫學士　森定吉
森病院
入院隨意

# 伊達騷動

第八十二席　小金井芦洲講演

## 鐵之助の鐵扇

文『夫れぢやア下駄を借りて往くよ、大きに有難う、此頃に閑を見て一杯やらうぜ』時『ウム、是非なア』文『ウフッ、旨く往つたなア自分ながら何うして斯う云ふ智慧が能く出たと思ふ位だ、向ふぢやア氣が注きやしねわや、俺も萬更馬鹿ぢやアねわ』と一人で感心をして立戻つて參りました 文『ヘエ、往つて參りました』鐵『オヽ、毎々御苦勞であつた、ごうであつたな』文『不思議でございます、荒木様はテンデお出にならないと云ふことで』鐵『ナニ行かんと……然うか、其方ア何だな主人から吩咐つた杯とは申すまいな』文『決して御心配なく旦那様をお引合などに出しやアしません、是々云々にして尋ねて參りました、渡邊顧母様は宵の程から御新造のお酌で召上つて好い心持ちお醉ひなすつて今頃は眞夜中頃……』鐵『ホウ、左様か』猪口を上げて又一口呑んで考へに沈んで居りましたつけ 鐵『文助、大きに御苦勞、モウ用はない、彼方へ參つて酒も多分は不可んが聊かは飲んで好い、悠然休んだが好からう』文『有難う存じます、では御免を蒙りまして……』酒を呑みながら色々考へて居りましたが何か思ひ當つたことがあると見ゑて 鐵『文助』文『へイ……お呼びで』鐵『ウム』文『また何方かへお使ひに參りますかな』鐵『イヤ、使ひではない鳥渡急用が差起つて是れより御殿に上がらんけりやア成らぬから留守を萬事氣を注けて呉れよ』文『お出掛けで、此マア晩い降りの中を……ではお中の口までお供を』鐵『イヤ供には及ばぬ微行からの度びくの使、草臥れたであらう、供には及ばんから悠然休んだが可らう、今も申す通り留守中は萬事心注けんければ不可んぞよ』文『畏まりました』急ちの内に衣服を改め腰に懸ねの大少を帯び、時節は合羽が著ごは著ませぬ、雨具の用意もせず、爪皮の掛つた足駄に蛇の目の傘、文助が玄關に立出で 文『行つて入らつしやいまし夜中御大儀千萬に存じます』鐵『確と氣を付けなさいよ』文『畏まりましてございます』自分のお小屋を出で松前鐵之助グルリと御殿を廻つてお奥の御庭所の邊に當る庭先へ這入つて參りました、お庭の眞ッ唯中に勸請してあるのがお國表から移した熊笠大明神、神前に進んで幼君の御武運長久の祈り、折柄の暴風雨、今宵一夜は變事のないやうにと念じ終つて此處を去り、樹の間を御殿の方へ靜かに進む、折りしもあれ最前忍び入つた荒木和助後に忠義大膽の松前が進み來るとも知る由なく、お縁先へ進んで彼方此方と手探で忍び込む所を見立つて居るが、俗て結構な普請だから却々這入る餘地がない、小柄を抜いて雨戸の滯を削り、力に任して一枚を引外して這入らうと云ふのか、雨戸に兩手を掛けて 和『ウムーン……』と渾身の力を出した、モウ疑ふ餘地はない、確かに和助と見て取ましたから 鐵『曲者ッ……』と聲諸共バラくーッと飛込んで羽翼締をした 和『這は仕損じたるか』と和助においては體を沈めてバッと抜けた、松前程の人だけれども暗いからスマタを喰つた、化早く向ふに身體を遁れた和助『最早是れまでなり』と思つたか腰に帶びて居つた拜領の脇差に手が掛ると抜く手も見せずサーツと切込み來る、太刀風三寸にして身を交すの早業、鐵之助はヒラリ飛び退き手に提げた鐵扇を持つて碎けよとばかり小手を打ちましたから痺れが來つて匕首をポロリと夫れへ落しました。

## 將棊新手合(完)

於京城黄金町三丁目(電話二〇二五)
角落六段 △滿呂木光治氏(京城)
二段 ▲園田豊氏(釜山)
(圖は前號指了迄の局面)
△持駒滿呂木氏角金歩二

△二四歩▲同銀△四四歩▲同金△四五歩▲三四金(ア)△三二金△同金△同銀ナル▲同玉△四一角▲二二玉△二四飛▲三三金引△三一銀▲同玉△三二飛ナル迄にて滿呂木氏の勝

總評　本局は最初に上手方は力戰趣向の策戰に依りしに下手方は玉の備へのみに汲々たりしが中盤戰に於ける局面の不利となりしは下手の緩着なり六五桂同歩の時同歩なりしが上手の爲め彩を採りしも下手方は極力入玉手段を採りしも下手方に巧みに防禦されたる後優勢に乗じて七三銀打ち及び三四金の惡手を連發したる爲め僅かに生還され後ち奇手の爲めに途に敗れしは下手方に取りては遺憾なる局面也
(ア)三四金は弱し最後の敗因なり此處七五銀五七玉四七歩に優勝なり若し七五同歩は五七歩同七五玉三四桂同四玉の時に四五金にて如何に變化するとも優勢なり

## 詰將棋解答(第四回)

△正解 三四銀五二玉六三角なる同玉五四銀六二玉七一角なる同玉五一飛八二玉八一銀同玉七二金打九一玉八三桂打迄(十五手)
△正解者 ▲京城 重政顧一、高橋鐵太、高麗野鳴香、奥馬峰、有賀景男、熊本友哉、馬井竹次郎、黒瀬不二男、井上直太郎、角野賀、大村精一、木下清吉▲龍山 水谷大頭、江口英一、中島國子▲仁川 岡田太郎▲平壤 湖信亭▲兼二浦 和田小八、今田世住▲遊島 エスエイ生▲大田 奥村伊三郎▲忠北 細野保胤、山木健次▲忠南 木浦 松本武正▲統營 長岡源次兵衞
△入賞者 抽籤の結果忠北青山細野保胤氏と決定
△橋居生君へ 御手數ながら住所並に本姓名詳細御通知ありたし(係)

## 三白　十二月十日

(舊)十月十九日 水曜日▲ひのへさる 日白暗劍北佛滅▲鉄▲成
▲一白▲内輪の事に注意すべし
▲二黒▲儲かる事に關して或は意外の利益あるやも知れざる日
▲三碧▲喜び事多き日にて何事を爲すにも吉なれど輕擧を誡む
▲四綠▲心配すれば生ずる程仕甲斐のある日但し病氣注意のこと
▲五黄▲見かけ倒し事多からん
▲六白▲焦せらず爲さば可なり或は意外の引立あるやも知れず
▲七赤▲輕卒にせざれば凡て物事調ふべく但男女間の事は不可
▲八白▲思ふ樣に頓々拍子に物事の捗ごる事ありとも妄進は凶
▲九紫▲考へ抜いて爲すべき日


眼科専門 金井眼科醫院
京城若草町(總督府道路中程) 電一五五六
新築落成◎入院随意◎日曜祭日午前中

多田式日、英、米、支各政府専賣特許
品質優良無比(工業用、食料用、醫療用)
鰐印 ゼラチン
大阪 内外信託商事株式會社製
郵小包其精々御相手御便利に御用命に應じ可申上候
京城大平町 鮮滿代理店 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
入院随意 酒井婦人病院
電話一八番 一六〇〇番 酒井一郎

天授(てんぎゅう)
他に類のなき菓子の様なモナカ入り 甘味一粒丸藥
主藥は歐米醫科大學にて稱用せられて帝國醫學博士も近來專ら稱用する貴重藥にて
たんせきぜんそく百日咳感冒大熱
急性肺炎きかんしかたる、はしか等の熱病一切夜せきで眠れぬ時一粒を服用して發汗し安眠すれば治癒すべし
リウマチス、四季引風頭痛惡寒凡て大熱病に奇効あり
二日分廿錢、四日分四十錢、七日分六十錢、十六日分一圓廿錢
發賣元東京神田 山崎帝國堂

外科皮膚科 瀬戸醫院
京城旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀬戸潔
(診察夜九時迄)(電二四九八番)

醇良清酒

鮮滿到る處に販賣す
平壤 醸造元 齋藤酒造合名會社

痔疾専門 京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目(本町より入る中央) 電話一一〇二

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千六百貳拾萬圓
總預金 參億五千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町一丁目 振替貯金京城一六二番 電話二二一一、七番 二八八番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

美しい皆様方の
御容姿を
恍惚する程艶麗にする
新發見のホーカー白粉
ノリノビ共に申分なく
濃くも淡くも意のまゝに塗き
白さの美しい——芳香の佳い
純無鉛
煉製
ホーカー白粉
光榮——肌アレを防ぐ副作用
◆農商務省特許局の特選品
◆小笠原流婚禮大會専用品
◆全國白粉投票で一等當選
ホーカー白粉は單に美いお化粧が能るばかりでなく洗落した後の色を白くし同時に肌を整へますから肌荒れを防ぐ作用も有つて居ります

東京神田和泉橋 ホーカー化粧品本舗 堀越嘉太郎商店
電話神田一四三・一四四・一四五 振替東京一五六

弱い胃＋ホシ胃腸藥＝強い胃
胃腸が常に強健でさへあるなれば少し位食べ過ぎたり、飲み過ぎたり又は過つて不良の飲食物や悪い病の黴菌の附着せるものを食したりなどしても大既何の障害も起らずに濟むものである。然るにこゝ反對に胃腸が弱つて居れば少しの原因でも消化不良に陥つたり又は激烈しき中毒症を起したり傳染病に罹つたりして遂に一命にも係る様になる、殊に夏は暑さの爲に胃の筋肉が弛んで働きが鈍くなり身体が倦怠一般に衰弱を來すから此弱り目に附け込んで色々の黴菌が侵入し遂には赤痢やチブス、コレラ等に侵れ易い、斯の如く夏は一年中で一番胃腸の危險な時である、されば平常胃の弱き人は勿論、健康者も注意して毎食後必ずホシ胃腸藥を服用して常に強健な胃腸を保たれよ
ホシ胃腸藥

藥價 廿五錢 五十錢 一圓
東京京橋 星製藥株式會社


## 大阪商船汽船出帆

(仁川出帆)
△木浦大阪行 安東丸十二月十日後四時
△信の川丸十二月十七日後四時
△群山大阪行 大進丸十二月十日後四時
(元山出帆)
清津行 安平丸十二月八日後九時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸十二月十四日後十二時
(大連出帆)
上海、基隆、打狗行 湖北丸十二月十日前六時
内地各港仕出し上海
歐洲行一年四回 北米行毎月一回 南米行一年四回 濠洲行毎月一回 南洋行毎月二回
御注意 外國行旅客は船會社の都合により出帆前日迄に乘船切符を求めらるべし、又便船有無は豫め御照會ありたし
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二〇番・五五番
京城 内國通運會社 京城通り 仁川本町 東京府商會 電話四二七番

## 共同汽船仁川出帆

▲奏皇島行 第十二共同丸十二月十一日午後入港十二日午前出帆
▲青島直行 第十六共同丸 月 日後入港 日前出帆
▲大連直行 第十三共同丸 月 日正午入港 日正午出帆
大連朝鮮主要港間定期航路にて荷客の取扱をなす
仁川代理店 阿波共同汽船株式會社 仁川本町四丁目 電話二七三番
元山代理店 野口商會
京城取次店 南大門 河村運送店

## 朝鮮郵船出帆

大阪船客は時間表に依る 場合有之候に付詳細は本社又は各地支店代理店に御問合せ相成度候
▲沙汐行 元山經由 立神丸十二月 日清津發
▲浦汐行 大阪、門司、釜山、元山、城津、清津經由 平安丸 月 日元山發
雄基行 釜山、名港經由
雄基丸 月 日元山發 日釜山發
平壤丸 月 日元山發
▲元山雄基線 元山雄基間各港經由
慶城丸 十二月 日元山發
▲大阪行 釜山經由
春日丸 月 日釜山發
▲關門行 各港經由
雄基丸 十二月 九日釜山發
京畿丸 十二月 日元山發
▲濟州島行 釜山發
昌平丸 十一月 日釜山發
▲濟洲島行 由西廻島嶼經由
東廻慶興丸 十二月 日木浦發
▲釜山麗水線 釜山麗水間毎日一回往復
▲木浦多島海行 木浦發
▲晋州丸 月 日仁川發
▲海州行 各港經由 毎日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由
▲大連行 各港經由
江原丸 月 日仁川發
本社 京城南大門通
釜山支店 元山出張所 仁川代理店 木浦代理店 京城取扱店
其他各寄港地ニ荷客取扱店

京城日報 （年中無休刊）

# 天道敎と侍天敎 （四）

渡邊彰氏述

## 第一章 立敎の由來（三）

翻脫崔時亨は時の形勢判所己身に利なきを洞破せしが更或は先師崔濟愚の規矩に依守するを本旨とせしや其の心情は明かならざれども兎に角死明に先だつこと三六箇月前即ち明治三十年丁酉の歲（光武元年）十二月廿四日に在りて門弟子中の龍象たる孫秉熙金演局孫天民列座の席に於て特に孫秉熙を道主となす事由を叫告し師授の敎統を嗣がしめたるにより其の身死するも先師の敎統が亡ぼすに至らず。而して崔時亨の統を紹ぎて第三世の敎主となりたる孫秉熙の時代に於て分派角立の實相を呈せる次第は之を第四章分派の端緒以下に詳述すべし

## 第二章 敎義の要領

大道敎及び侍天敎徒が唯一無上の寶典として信奉する所のものは敎祖崔濟愚の提唱せる記錄即ち東經大全にして大體之を四篇に分ち崔濟愚が自己の心中に悟感實解せし所行の要點を敍述せるものなれども其の記事前後錯綜を極め而して會得に甚だ不便なるを以て今左に其要を摘み之を敍述すべし

大道敎及び侍天敎の敎綱は（一）心法（二）行目（三）儀式（四）戒の四項に分ちて之を觀察するを便宜なりとす而して其の心法に於ける骨子は宗心正氣の四字にして其の談義に數萬言を費すも此の四字の含蓄を外解するのに外ならず次に行目として敎重する所のものは誠敬信の三字なりとす次に儀式として行ふ所の作法は祈天、念天の二事にして其の祈天には淨潔に清水を盛り呪文を唱へ又念天には食事に當り食前に祈告の行事あり又敎祭に敎義を守る者は出入ともに祈告の行儀を缺がずと云ふ次に戒行として守るべき要目は無惡食、無淫の三事なりとす。是れ敎義の要領にして東經大全に記述する章句は之を敷演せるものに外ならず其何かなることあらむことを慮む。而して崔濟愚が本敎を組立てたる心底を洞觀するに參考資料として茲に附し置くべき肝要なる一事あり即ち文久三年八月十五日にありて崔濟愚が崔時亨に訓示せる立敎の理解の一節是なり其要に曰く吾が道は儒佛道三敎を兼て之を一に圓融するものなり即ち

五倫五常を立て仁に居り義を行ひ正心誠意已を修めて世に及ぼすは儒敎に取る（孔子）慈悲平等を心となし身を捨て世を救ひ道場を淨潔にして口に神呪を誦し手に念珠を取るは佛敎に取る（釋迦）玄を極めて無極に至り榮利名聞を除して無慾淸淨に身を持し神聞を鍊て終に昇天を希求するは道敎に取る（老子）然れども竊かに其の源頭に遡れば此の三道は共に一の天道に歸す

と訓示せり是れ即ち儒佛道三敎の長所を取つて一の敎法を組成する基本とせることを辨明せるものにて東經大全論學篇中に吾は今も聞かず古も聞かざるの事にして今も比せず古も比せざるの法なりと謂ふ所以なりとす、特に又行目の要點たる誠敬信の三事を說くに佛敎に於ける循環の理法を應用し且つ人の機根を上中下の三段に分ち信敬は下に行はれ。敬敬は中に行はれ。誠敬は上に行はるゝと解示し更に進んで信は敬を生じ。敬は誠を生じ。誠は信を生ずと說きたる點は洵に巧なるものと謂つべきなり

## 第三章 傳敎の系統

敎に大道敎又は侍天敎と稱して存在する所の傳敎は崔濟愚之を創めて崔時亨に傳へ崔時亨は其晩年に至り、敎統傳授の上足中より孫秉熙を道統の承主と定め而して孫秉熙が敎務統率の時代に於て瓜分角立の端を啓き以て今日の狀勢を導すに至りたるものなり今其敎統を系圖表に顯せば左の如し

第一世 崔濟愚號水雲 萬延元年四月五日得道○元治元年三月十日死刑に處せらる（明治三十九年中特敎せらる）

第二世 崔時亨號海月 文久三年八月十四日承敎嗣法○明治三十一年六月二日死刑に處せらる（明治三十九年特敎せらる）

第三世 孫秉熙號義菴 明治三十年十二月二十四日承統現今に至る○明治三十八年內地在留の時に於て名を天道敎と改む

侍天敎第一世 李容九號鳳菴 天道敎主孫秉熙より除名處分を受け同志を率ひて侍天敎なるを組織し推されて敎主となり明治三十九年九月十七日を以て一派特立の敎義團體たることを公にす

第二世 宋秉畯號嘯菴 第一世李容九の死後の承統者となりて統率の任に當りたるも金演局の一派別立せり故に現今は俗に宋派金派と稱す

別立第一世 金演局號龜菴 宋秉畯と融合はず別立せるものなり

### 道統圖表

（東學敎） 水雲崔濟愚……海月崔時亨……（東學敎） 鳳菴李容九……
義菴孫秉熙（天道敎） 龜菴金演局（侍天敎） 嘯菴宋秉畯（侍天敎）

以上の人々が敎統を收攬せる年月の多少を知る參考資料として左に其要點を揭ぐる事とすべし

第一世 崔濟愚 統轄年數四箇年 萬延元年四月より元治元年三月まで

第二世 崔時亨 統轄年數三十四年四箇月 元治元年三月より明治卅一年六月まで

第三世 孫秉熙 初期の統轄年數二十一年七箇月 明治三十一年六月より同三十三年まで

○代務 李容九 不在間攝理年數約五箇年 明治三十四年より同三十八年まで

○歸部の上統務 統一時代約八箇月 明治三十九年一月末より同年九月まで

○分裂後の敎治年數十二年八箇月 明治三十九年九月より大正八年四月まで

# 生別死別

＝（不許無斷轉載）＝

服部硯月

## 第六 解脫

『井上君、然まで一方ならん御世話になつた。が、愈々、今夜は永の別れだ、僕は是まで隨分煩悶もし又苦惱も嘗めた。併し今日となつては全く迷ひの夢から覺めた。斯の如く生きて斯の如く死ぬるのが僕に定まつた運命であつた。天の日課には天地開闢の劫初より既に斯う云ふ事に規定されてあつたのだ、如何に焦つても藻搔いても此の日課の外に出る事は出來ん。

古來幾多の學者が天地間の眞理を究め、人生を解決しやうとして努力もし煩悶もした、が其の結果はどうか、其學說と云ふものが人に依つて異なり又時代を追ふて變つて來るではないか、再び天地を創造する丈けの力を有たない人間には、眞の解決は不可能だと斷言するに僕は敢て躊躇しない、併し人生の行路、廣義に云ふて天地間森羅萬象の變移が天の日課に基づく丈けは斷定して憚らん、僕が茲に天と云ふが夫は地に對する天の意味ではない、天地を創造した形容の出來ない或る偉大なる力を指して名づけたもので、此の力に依つてこそ天地が造られ又支配されて行くのである、此の點に於て其力は恰も基督の所謂神に似て居る。けれど祈禱を捧げて嘉納して呉れたり、罰に天罰と云ふ世界を持つたものとは違ふ。又僕の天の日課と云ふのは昔から唱へられてゐる運命觀若くは宿命觀と稱似てゐるが是れ亦其の間に大なる相違點がある、運命說は目的の有無である。運命說は運命は人力の自由にならぬとして自然の成行に任せて甘んずるのであるが、僕の方は一の目的に向つて進行する豫定の日課であるから、其目的の爲めに甘んずるのである。僕が此處困窮な病氣に苦しむのも、竹が雪を戴いて折れるのも終局の目的に向つて進行する經路中の犧牲である、全軍の終局の勝利の爲めには前衞は全滅しても厭はないではないか、僕等の犧牲は百萬の貔貅中の一斥候の纖紗の汗一本の尖端が風に摩擦されたにも過ぎないのである

斯くつて其の目的とは何であるか、尚ほ不可解である、此目的が解れば人生は解決されるのである、古來の學者は此目的に向つて一言も說明を試みてゐない、恐らく未を忘れて未を捉へてゐるのである。夫に淺學の僕が敢て目的を云爲する、空論と云へば空論である、併し之れには一の根據がある。苟くも天地と云ふ形が備はつてゐる以上何等か造つた者の有る事だけは想像し得られるであらう、僕が假にXと名付けたがXとして置いても宜しい、不可思議のXの行る事は斷定して異論はあるまい。されば苟くも物を造ることは必ず目的がなければならん筈だ、假令說明が付かんでも目的のある事丈は斷定して異論はあるまい、此目的の有無こそ宿命觀と岐る、所である、唯人生の經路が人力の以て如何とも仕やうのないと云ふ事だけは宿命說と一致してゐる、斯う云へば運は天に在り果報は寢て待てと遊民を作る虞れがあると難ずる者があるかも知れぬ、けれども夫は未だ僕の說の眞意を解しないのだ、如何に努力を銷磨せしめず、進步力を遲緩せしめない爲めに僕の說を度外視しても天は夫等の爲めに左右されない、豫定の通りに支配して行くのである、佛說にも三不能と云つて出來ない事の三つの中に定を轉ずる事の出來ないのを其第一に置いてあるではないか、因果の理を破る事の出來ない事や、第三の緣なき衆生の度し難い事や畢竟三つの者は天の日課に從つて行くと云ふ一言に盡せるだらう……』


# 大日本文明協會購讀會員募集

●識者は此機會を利用せよ！

常に時勢に率先して新知識の普及に努め民衆の嚮導に任ぜる本會は今や世界の變局に際し益々其責任の重大なるを自覺し一面各種の啓發的事業を進むると共に左記刊行書に就き購讀會員大募集を試むることゝせり。即ち本會既刊書中より各自希望の書拾貳卷を一組として頒布する方法にて從來の本會員制度に一步を進めたる者也。今回の計劃は本會が大戰後に於ける國民の渴望に應ぜんとする犧牲的提供なれば此好機を利し奮つて入會申込あれ！

幸福學　夢の心理　死の研究　遺傳　心靈生活　性慾研究　變態心理　愛と死　民衆藝術　進化の意義　戀愛の進化　遺傳と境遇　婦人と犯罪　能力の研究　少年と道德　群衆と政治　敎育と社會　憲政の運用　日米問題　婦人運動　社會問題　墨西哥　露國民　動力　北極　航空學　植民政策　現代の墮落　今の南阿　暗黑面の獨逸　現代社會心理　人格養成論　日本の科學界　社會進化論　比較心理學　革命の心理　風土心理學　犯罪心理學　近代犯罪學說　社會統制論　應用社會學　人種改良學　生物の世界　宗敎の眞諦（上下）

經濟政策（上下）　資本及收入論　價値の哲學　實際の哲學　都市の兒童　人類の要素　科學と奇蹟　歐洲演劇史　舞踊と歌劇　年齡成長及死　現代哲學の批判　歐洲大戰の經驗　結婚の性問題　資本主義の精髓　日本人海外發展　戰時及戰後の經濟　兒童生活共數義　歐洲大戰の理的敎訓　地的環境と人生　經濟的道德主義　最近化學界の驚異　獨逸の職業組織　歐米人の極東研究　歐洲各國民心性（上下）　過渡時代の婦人　近代思想界の變遷　近代立法の精神　生物學的人性觀　現代の敎育的運動　國際商業及交通　近代化學の勝利　今日の科學思想　近世應用電氣學　生命の不可思議　歐米の製造業　種の起原の基礎　超異遺傳及進化　今日の南亞米利加　現今の猶太種族　學術的發見史　軍事世界地理　變態性慾心理　獨逸世界政策　列強權力問題

（略）

摘要 會費 上記書目中任意選擇せる拾貳卷を一組とす ▲拾貳卷以下分讓謝絕 ▲一時拂金貳拾貳圓 十二回拂金貳拾四圓 初回四圓次回以後每月貳圓ヅツ納入ノ事

送料 內地は本會負擔、臺灣朝鮮樺太其他は內地郵稅との差金申受

會長 侯爵 大隈重信
編輯長 法學博士 浮田和民
理事長 市島謙吉
編輯顧問＝碩學二十四家
評議員＝肝付男爵其他名流數十名

【會則】御申越次第即時に無料送呈

（申込所）東京市牛込區水道町三十八番地 大日本文明協會事務所 電話番町三五四二 振替東京二一八九〇番



ニッポノホン

十二月新譜賣出し

長唄 木賊苅 長唄三栄会
講談 海晏寺 春風亭柳
浪花節 宇治茶
落語 釜泥 柳屋小さん
謡曲 羽衣 觀世喜之
尺八三絃 八雲（さびしさ、みだれ）が聞き 松本秋水 林宗琴
大神樂 續三人滑稽 バンカラ新坊 木村時子
童謠 すきとくわ 天野喜久代
獨唱歌劇 ラ・マスコツテ 同

定價（兩面一枚）金壹圓五拾錢

御氣に召しさうなもの許り揃つて居りますぐ御注文遊ばせ

拾貳月月報目錄 御申込次第進呈す

京城本町二丁目 日本蓄音器商會 電話一四八三番



電力モートル變壓器起動抵抗器

十二月一日より販賣價額改正す

當社製品は京城中根商會に販賣方委託仕同商會に百馬力以下各馬力共在庫致させ居候故當社同樣中根商會に御注文願上候

大阪電燈株式會社製作所



碧梧桐先生著（最新刊）

支那に遊びて

四六判總布裝 … 定價金貳圓 送料金十二錢

碧梧桐氏の…たる著者が…支那に遊び自は東より北京に及び或は上海に香港に寄港し…山川風物の奥を訪ね、人間としての支那人、國としての支那を見たるもの本書なり、超脫の觀、犀利の察、著者獨特の俳眼は自ら方面の新なるを覿よ。

新渡戸博士序 法學士 植村寅著

[illegible]產業見物

三六判總布裝 三百三十六頁 定價金壹圓參拾錢 送料金十二錢

大町桂月先生著（最新刊）

滿鮮遊記

四六判總布裝 三四〇頁 定價金貳圓參拾錢 送料金十二錢

足跡海內に普き旅行家として有名なる著者は更に海を越へて滿洲朝鮮の地を踏む半歲間、明治期の…地理を…歷史を…切に一讀を勸む。

東京 大阪屋號



宮內省御用達

キッコーマン

歲末年始 贈好品

千葉縣野田町

野田醬油株式會社



# 山下黒鉛工業株式會社株式募集

## 募集要項

一 資本總額 金參百萬圓
一 公募株數 壹萬五千株
一 一株金額 金五拾圓
一 申込株數單位 拾株以上
一 申込證據金 壹株に付金貳圓五拾錢
一 第一回拂込金 壹株に付金拾貳圓五拾錢（證據金を含む）
一 申込期限 十二月五日より十日迄 但期限前申込を受く
一 募入決定方法 應募株が募集株數を超過したる時は發起人に於て適宜之を決定す

東京現物團

### 會社の抱負

將來工業界の旺盛に伴ひ斯業に缺くべからざる黒鉛は今や國際商品として世界的に其眞價を認識せらるゝと雖も品質、技術、經驗に於て其名聲嘖々たるは永興及江陵の兩鑛山を所有する山下黒鉛に如かず今回時運の進展に策應すべく從來の經營を會社組織に改造せんとす蓋し玉石を鑑別し難き新事業と其選を異にし多年歐米市場に於ける歷史を基礎として計畫したる擴張なれば事業の實質、前途の成果は深く信頼するに足るべし

### 黒鉛の用途

其需要驚くべき激增なり然も其實情を視へば安價に原料を輸出して高價に加工品を輸入する有樣なり眞に遺憾の極ならずや、本會社の今後大に加工品に力を用ゐんとする所以茲に存す本社の發展は獨り本社の利益に止まらず國家の幸福たるべきを信ず

然らば黒鉛の用途如何と云ふに其重なるものを擧ぐれば電氣の原料、乾電池用含劑、坩堝用、電氣用碳瓦、蓄電用心材料、電氣用、原料、機械油潤滑用、鑄物用、電鍍用、錆止ペイント用、ストーブポリシ工業に供せらる

### 收支の豫算

事業目論見書に詳記する所あり斯道の專門家の精確なる檢算に係り世間に散見する浮浪杜撰のものとは日を同じうして論ずべからず、而して年二割の配當は山下氏の確信を以て明言せらる…加工品の分量增加と共に收益の更に增進すべきは勿論なりとす

### 會社の前途

創立以來多年經驗ある製品及販路の關係並に非凡の改造後の注目すべき發展等に鑑み諸氏も安心して投資し得べきものたるを信ず

發起人及贊成人（次第不同）○印發起人

[illegible]

株式申込及拂込場所

東京 漢城銀行支店　同 朝鮮銀行支店　同 住友銀行支店　同 川崎銀行　同 村井銀行　同 中井銀行　同 帝國商業銀行　同 若尾銀行支店　同 住友銀行支店　大阪 朝鮮銀行支店　同 住友銀行支店　京都 村井銀行支店　同 左右田銀行　横濱 住友銀行　神戸 朝鮮銀行支店　[illegible]　姬路 三十八銀行

[illegible]

東京現物團　山一合資會社　株式會社…

東京市京橋區山城町十五番地（電話新橋三七八四番）

山下黒鉛工業株式會社創立事務所

## 米飛行隊大飛行

米國航空當局は飛行家十名機械工六十名に對し海上飛行機にて布哇迄飛行すべき旨命令せり(桑港電報)

## 米國委員の警告

在巴里米國委員は講和條約履行に關し米國は聯合國と堅く一致の行動に出づる旨獨逸代表者に警告せり(巴里電報)

## 對墨斷交案提出

對墨國斷交案は米國上院に提出され委員會附託となれり(華盛頓電報)

## 最高會議と抗議

講和最高會議は獨逸の軍備增大せるに對し抗議を申し込みたり(巴里電報)

## フユーメ事件解決點

フユーメ事件に關し聯合國と伊太利間は今尚協定困難にしてダンヌンチツオ撤退と共に伊太利海軍はフユーメを占領するに決せり(巴里電報)

## フユーメ問題挿入せず

講和最高會議はフユーメ問題を對白條約に挿入せざるに決議せり(巴里電報)

## ア將軍遂に死刑

墨西哥軍法會議はアルゼルス將軍を死刑に處することに決せり(華盛頓電報)

## 福州事件顛末發表

七日外交部は某通信社を通じ福州事件に關し發生當日より今日に至る日支間に往復の公文書抗議を擧げ極めて詳細に交渉の顛末を發表せり(北京電報)

## ストライキ不成功に終らん

福州問題に就き北京商務總會一部は學生の思想を受けストライキを爲す可しと主張する者あるも一般商店承諾せざれば到底實現せざる可し(北京電報)

## 西藏問題と英國

三日英國公使は陳外交次長を訪ひ西藏問題の談判再開を求めたるも陳次長は婉曲に之を拒絶せり之が爲め同公使は更に段祺瑞氏を訪問し此事を協議せるに段氏は『支那國民は山東問題發生以來非常に憤激しつゝあれば政府も亦國民の意に服從せざる可からず』と答へたり(北京電報)

## 煙酒の借款抗議

米支煙酒借款に對し佛國公使は抗議を提出せり(北京電報)

## 貴族院書記官長轉任

貴族院書記官長柳田國男氏は近く地方長官又は内閣恩給局長に轉任し後任に現書記官河合彌八氏任命さるゝに内定し右は議會迄に發表さるべし(東京特電)

## 酒造税の引上

酒造税は一石三十五圓に引上げらるべし(東京特電)

## 支那公使轉任

新に日本公使に任命されたる劉鏡人氏は辭職し留學生監督江庸氏は日本駐劄公使に任命さる可し(東京特電)

## 米取引所配當

東京米穀取引所今期配當は三割六分に決定せり(東京特電)

## 白國公使昇格

日白國公使を大使に昇格すべく彼我交渉中なり(東京特電)

## 邦品不賣誓約 學生等の暴行

上海支那商人等結束し日本品を取扱はざるやう誓約書二萬を配付せしが大多數は調印せりと尚當日學生等は誓約を裏切りたる支那商人を象どる一個の人形を作り支那街に行列し且つ日本品を賣れる店舖の看板を外し其名を揭げて公衆の嘲笑するに任ぜたりと(北京電報)

## 敦賀聯隊渡連

七日午後四時敦賀聯隊七百名は大連に渡航せり(東京特電)

## 京畿兩税成績

(京畿道)一萬六千百五十圓此收入歩合九… 調定額四萬三千五百七十五圓に對し收入…

## 千坂司令官著任

新任鎭海要港部司令官千坂智次郎中將は赴任の途八日朝來釜し水雷艇村雨にて任地に向へり(釜山特電)

## 試驗所長後任

今回退官せる總督府中央試驗所長豐永眞里博士の後任には現農商務省工業試驗所技師(第二部長)工學博士中村喜三郎氏任命せらる可く五日閣議に於て決定せりと傳へらる

## 模範場長署定

勸業模範場長本田幸介博士は辭表提出中の所御聽許の事に確定不日辭令を交附せらるべきが其の後任として現北海道農學校教授農學博士橋本左五郎氏に略決定せる如く氏は模範場長たると同時に依然北海道農學部教授を兼任する事となるべしと

## 歐洲電報制限

今回東方擴張電信會社より遞信省を經て總督府遞信局に對し目下歐洲方面行電報は海底線不通の爲め著しく停滯し其の疎通甚だ困難にて一般電報利用者に對し可成通數を減少し且つ電文の短縮を圖らしむる樣並びに「クリスマス」及び新年の祝賀電報の如きは之れを郵送せしめざる樣通牒ありたり

## 滿洲毛皮取引

滿洲の毛皮取引に關し八日滿洲一時客は語りて曰く滿洲に於ては奉天及び錦州の二箇所に毛皮市場あり而も舊滿洲部會の毛皮商最も優勝にして能く嗅ぎ出し各種毛皮類は悉く奉天に集めらるゝも虎皮、黃貂皮、豹皮及び其の貂皮等の取引は次第に哈爾賓市場より奉天に移りつゝあり戰前に在つては哈爾賓は其の取引に頗る便利にして歐洲商人は奉天に於るよりも取引盛んなりし今や該地方の秩序恢復せず又活況を呈すべきも茲當分は奉天に獨專せらるべし而して歐洲商人は其の買付人を奉天に派遣し狐皮貂皮浣熊皮鼠皮等の買付を爲さしめ本國の需要に供しつゝあり三姓地方、曾て年額二百萬兩の貿易額を擧げたりしも今や全く取引なく錦州の取引も亦奉天に移り昨今奉天には夥しく毛皮成金を簇出せしむるに至れりと云ふ

## 金肥需要增加

近年引續く米價の昂騰は鮮人農者の頭腦を刺戟する所多く其の農法の如きも從來の粗笨なる農法は漸次集約農法に轉じ其の結果として殆んど肥料を見ざりし硫安豆粕肥料の如き鮮人間に肥料とする者漸く多きを加へ來り而も一旦肥料施與の結果は意外の好成績を擧げたるを實驗し農事改良に關する智識の開發と共に此の種金肥は益々多からんとする傾向著しきものあるも硫安の如きは鮮內生產額の八割は今尚內地に移出され居り殊に最近內地に在荷の爲め三四月渡の先物買付の注文殺到せる現狀なるを以て內地硫安も今春以來尻上りに昂騰し當時硫安一噸(十貫入二十五袋)三百二十圓唱へのもの十月頃には三百九十圓を唱へ昨今三百九十圓唱へに昂騰し又豆粕の如きは一玉二圓六七十錢のもの昨今品薄の爲め四圓唱へにても應ぜざる現狀なるを以て今後內地在荷の潤澤を加へ其の商狀に變化を呈せざる限り容易に安値は期待し難かるべしと

## 獨逸の將來

革命の眞相(二)

在伯林本社特約員 上田碩三

數月前獨逸西ルツエルンの社會黨大會に於てツロルストラ氏は『つた『獨逸』の革命は決して製造されたものではない、將た特に革命の首領又は一定の黨派に依つて成就されたものではない、寧ろ之を行つたのはカイゼル、ウイルヘルム二世其の人である』と又普魯西社會黨の首領アウグスト、ウインニツヒは嘗て其演說中『獨逸の革命は決して吾人の計畫の結果ではない』と云つたが、蓋し共に革命の眞相を穿つて居る、或は革命の計畫は戰時中殊に獨逸敗戰の秋に於て最も企畫的に仕組まれたと稱し、又は一部軍伐者流が革命に先だち戰線に於ける獨逸軍隊の間に一種の暗流漲り、爲に敗戰を招くに至つたと稱するが如きは全く信ずるに足らず、國內の實際は此の時既に萬事『事實』そのものゝ力に依つて壞されて行つたの

若し夫れ獨逸革命當時に於ける勞兵會の活動に就ては、之れ所謂國際的貧民運動が一個其の準備せる脆弱なるプログラムを以て時局混沌の間に潜入し以て露國の例に模して一時成功を贏したるに過ぎず、其の活動の中心は主として露國人の手に染した獨逸人は一部少數者以て成る外國のエゼントで、之の固より永く成功すべき筈なく彼等は忽ちにして何れかに消えて行つた、實例を擧ぐればハンブルグに於て勞兵會は先づ市廳を占領して自ら其の市政を行はんとした、而も市政の實際上の困難は到底彼等をして其の

理想を實行する事を得せしめなかつた斯て彼等は舊來の市長に賴りて市政を舊の市長に委して逃げ出した、つたが遂に數日ならずして全部同じくハンブルヒで或る銀行は勞兵會から銀行明渡しの命令を受取つた、銀行員は戶を鎖して數日の後再び自己の銀行に復

## 伊太利革命眞傳

伊國皇帝と群衆の熱狂的歡呼

伊國內革命運動漸次激化し終に皇室に對する民心等に就き近時外電の誤報を打消す可く京城伊國領事より本社に寄せたる書簡左の如し

近時、囲紙上伊國內革命運動又は同皇室に對する民心等に就き誤報されつゝある外電記事に對し余は貴紙を通じ職務上之を打消すものなり伊太利に於て革命運動勃發せず

### 國內至極靜穩

なり尤も最近議會內に僅小の社會主義者椅子を得たると又講和會議にて未解決の儘殘されたる諸種の問題あるは事實なるも國內に過激思想なるものを認めず蓋し過激主義なるものは伊國民本來の性質と全然相容れざるものなり、アドリアチツク問題にして

速に解決せば國內を擧げて、ヨリ迅速に政治の實を擧ぐ可し、議會開會の初日たる十二月一日皇帝議場に臨まるゝや議員は熱狂的拍手以て皇帝を迎へ、皇帝の演說は屢々熱烈なる喝采に遮られ帝の演說將に終らんとするや滿場割るゝ如き拍手喝采に終始し

### 帝最後の

演說の辭を結び消したる程なり、社會主義者等の主張も爲さず沈默して議場を去れり、皇帝御歸還の途に就かるゝや群衆潮の如く蝟集し帝の後に隨ひ終に宮邸を圍繞し

### 熱狂歡呼

せるより、一旦宮中に御歸還ありし皇帝は此熱狂なる歡呼に對し之を受く可く露臺上に立ち出でさせられたりといふ

は露國の如く又獨逸國に於けるが如き所謂ボルシエヴイズムのタリチツクスに於いても聊か其趣を異にして居る事は明瞭である

つて見ると、銀行は閉した儘何等の混亂もなく完全に再び其業務を開始した、勞兵會は遂に手を縮め、餘裕もなく消え散じたのであつた、蓋し獨逸の革命

## 旱害救濟費と貸付

貸出四百萬圓、貸付及償還方法

旱害罹災民救濟方法に就ては鮮旱害救濟委員會に於て大體方針を決定し爾後扶助及び朝鮮古來の慣行に依り地主側の救濟に依ることゝし更に

### 食糧の輸送

金融上の施設をなして遺漏なきを期し着々救濟の歩を進めつゝあるが中にも扶助の方法として被害地に於て施せる官營各種土木事業乃至民間有力者を慫慂し企てしめたる各種事業の如きも結氷期に入りて一時中止せざる可からざることゝなりたるが一面地主側の資力を見るに地方に依りては自力救濟不能なる者少からず勞働問題は此結氷期を如何にして經過せしむべきかに在り當局にては朝鮮銀行に交渉し差當り百五十萬圓を

### 殖銀に融通

せしめ被害地方民に貸下ぐる事とし一方大藏省當局と交渉して低利資金二百五十萬圓の貸下を得べく目下交渉中の由なるが右低利資金にして融通を得ば殖銀分を合し合計四百萬圓となり必要に應じて更に殖銀より四五十萬圓を支出せしむべしと云ふが殖産銀行より支出すべき百五十萬圓の救濟資金は政府側の盡力にて九分內外の低利にて貸下ぐべしと云ふ而して貸下の方法は大體に於て面又は里を單位とし互助組合を組織せしめ組合員數上の便宜を計り

### 地方有力者

二十名以上の連帶責任とし地方の情況を斟酌して必要限度以內の貸付けを行ふものにして償還は大體三箇年以內とし明年の收穫時より之れが回收をなす見込みなりと右に就き大塚內務局長は曰く罹災救濟の事業は過般救濟委員會に於て其大體方針を決定し其一に生業扶助の方法により被害地に政府事業として各種の土木を起すと共に民間の事業を促進せしめ被害地方民を使役し勞銀を得せしむると共に副業を獎勵し收入の途を講ぜしむることゝし他には朝鮮古來の良慣行たる地主救濟に俟つこととし各道其夫々救濟

### 方法を計畫

し來れるが北方地方は既に結氷期近づき土木事業等の勞働は其の情況に在り且つ地主側も地方に依りては資力なきものあり殊に安州平原博川定州地方に於て然るを以て結氷期に際し地主側の救濟不能なる地方に對し應急策を講ぜざる可からず依つて各面若くは里をして互救的救濟會を設立せしめ組合員連帶責任の下に殖銀より救濟資金を貸付くることゝせり尤も組合に於ける細民以下便宜上より其地の有志者二十名以上の連帶により連帶貸付けの方法を取ることゝ勿論なり右貸付金に就ては政府當局の斡旋盡力により殖銀は九分位の利子にて貸下ぐることを諾したるを以て被害地方民としては多大の恩惠に浴する譯なり併し當局の救濟方針が元々生業扶助と

### 地主救濟を主とする

を以て此種の貸出しは窮狀已むを得ずと認めらるゝものに限らるゝこと勿論なるが右低利貸付により地方窮民は生活に必要なる食糧を得て此急場を安全に凌ぎ得る事ならむ猶此低利資金貸付は必要限度丈けの貸付けに限るを以て實際に於て困窮せざるもの又は之が轉用を目的として融通を圖る者の如きは絕對に取締るべし蓋し斯の如きもの出でんか殖銀側の窮民救助費自然手薄となり其目的を遂行し能はざるべきを以て此點に就ては互助を組織する者は勿論なるが指導者の位置に在る地方官憲有力者は充分注意を拂ひ協力救急の目的の達成せんことを切望して已まざるなり

## 年末金融緩漫

昨今の狀態は警戒嚴に過ぐ

市中金融は緊縮一方にて新規貸出は商業資金と雖も止むを得ざる前約あるもの、外銀行にて殆ど拒絶しくれるが此の狀態にて

### 下旬の大節季

に入らば如何なる狀勢を呈すべきかにつき有力銀行方面の觀測を聞くに金融逼迫の最も甚だしきは十二三日頃より二十日までと見て大差なかるべく二十日以後の下旬に入らば金融界は存外緩み來るにあらざる乎何となれば(一)各銀行共歲末の狀態を戒しめ手控へ、資金の放出を控制しつゝあり(二)一般に於ても大節季の金融を顧慮し庫中の資金を成るべく放さゞらんとし而して此年の瀨を越さん準備に吸々たり(三)各銀行にて綿布の仲間取引を制限し

[illegible]

### 資金を藏置

するを要せざるべく…

## 事業と投資

城經濟事項のみに限られ發行人は岩瀨彥三郎氏

▲松永外事課長 本月末より年末年始の休暇を利用して東上東京にて越年すべしと

▲丸山正雄氏(朝鮮銀行木浦支店長)八日夜入城不知火…

### 事消息

二日夜十四年住み慣れし京城を後にして 坂出 義堂
留別
南へ南へと雁の行く日かな
夜寒さをいさひ給へ別れ行く
淡君日髮人わが心濁しく用
成候 岡本 桂堂
顧頭に立つや俊覺冬枯れて

## 前各課長別會

十日午後六時より花月に於て官民有志合同にて本岡、神田、工藤、板東、郡山前五課長の爲め送別會開催の筈なるが會費金七圓出席の者は總督府文書課に申込まれたしと

## 板東氏送別會

衞生課及び關係有志は今回警務衞生課長より神奈川縣警務部長に轉任せる板東義雄氏の爲めに九日午後七時朝鮮ホテルに於て送別會を催す可しと

## 發行許可

新聞雜誌發行許可

鮮に於ける新聞發行許可の指令は去る五日附左の如く許可ありたり

北鮮日々新聞 發行地咸北羅南政治經濟其他を報道し鮮國文として發行人は友成一馬氏

湖南新聞 發行地全北全州政治經濟其他を報道し鮮國文にして發行人は松波千海氏

釜山商業新聞 發行地釜山經濟上の報道に限られ一種の商況報道機關にして發行人は竹田神吾一氏

東亞經濟通信 發行地京城月三回五の日發行とし政治經濟其他の報道を目的として中村資良氏發行人たり

實業之朝鮮 發行地全北群山府山商報の後身とも云ふべく月一回の雜誌ならが政治經濟一般的を載錄し發行人は中尾十一氏

## 鳥瞰錄

▲幾の日の總督府事務官乃至府尹の大異動で高等官連の頭上に加へられた大鉞は滴る血潮拭ひもあへず今度は若朽判任官に兵向ふから振り下されるであらうと聞く前に年の瀨を控へて略分首の寒い連中もあるのだ▲然し御安心あれ其の豫期(?)は本年度內は斷じて而も之に指令の改正でも實施してから、と云うのだ、先づは一と息▲朝鮮に々御用を勤めさす事になつたさうだ、先づは一と息▲朝鮮に山林經濟と云ふ面白い書籍が出た本かと思ふと大間違ひ▲之は朝鮮の百科全書とも云ふべきものて凡そ世一般のあらゆる事が適切に記されてある著者は李朝の正宗王の時の刑曹參議(今の法次官)洪萬選で後に歸鄕り隱居せられた有名な漢學者丁若鏞氏の著ださうな▲丁氏は茶山と號し其他に牧民心書、欽々新書等の著書があり、何しろ味噌の造り方から子供の拵へ方、救荒作物の種類、法制上に於る堂々たる一兒やら何から此の策略の取り方それから職▲又は朝鮮に於る人情風俗、人生の機微に至る迄事細かに書かれてある在鮮內地人もチト斷くなもの、研究が必要ではないか殊に新來のお役人方に……そは某氏の談

## 東京株式特電

## 安東現物特電

## 仁川期米

| | | | |
|---|---|---|---|
| 同新 | 四五一、〇〇 | 七、九〇品 | |
| 同新 | 二四七、〇〇 | 五〇〇品 | |
| 上取 | 二二九、九〇 | | |
| 京米 | 二〇四、七〇 | 三、七〇安 | 八、八〇高 |

## 神戶期米特電

(正米變らず)

…して貨物部に場中限より叩き四十七圓四十錢より十錢と不勢の光景を呈したれば人氣の主社せ…


## 火災保險開始

謹啓 多年貴地の御愛顧を蒙り居候處今回業務擴張の目的にて左記に弊社出張所を新設し迅速且つ御便宜に御取扱可申上候間倍蓰の御引立に預り度偏に奉懇願候 敬具

英國ノルウヰツチユニオン保險會社
英國ユニオン保險會社 日本代理店

大倉商事株式會社保險部
京城出張所

京城大和町一丁目四十四
電話二五八〇番・二五〇九番・長二〇四番

十二月壹日より

# 景品付大賣出し

▲特等 金側時計
▲壹等 勸業債券、桐簞笥、大姿見
▲二等 桐簞笥、大トランク、鏡臺
三等以下空籤なし
回景品券をお望みでない御方には特に割引致し升

# 見切特價品提供

▲今年中の御禮心に今の相場で出來ない破格の大見切品!!
▲反數に限りがありますからお早い方がお德です
▲お一人二反以上は御斷り致します
◎お重寶なる商品券を金壹圓以上より調進仕候

京城本町 ちふや

國洋反物の御仕入なさるには何より、サキニ
マヅ!!相場を名古屋の丹羽幸洋反問屋に
照會せられたし
御滿足の出來る御回答を申上ます
名古屋市西區下長者町一丁目 丹羽幸商店 電話本局三七六二番
(丹羽幸商店御案內)

TAKA-DIASTASE
高峰博士發見
タカヂアスターゼ
本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸疾患に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り賞用せらる內外醫學者の實驗報告書あり無代贈呈す。
東京室町、大阪平野町東詰
三共株式會社

# 最新刊

# 大阪屋號

# 京日案內

大島紬着尺
外交集金人
毛皮なめし
年金恩給
江州屋本店
內勤店員招聘
店員入用
讓店
看護婦及見習至急入用 希望者ハ本人直接來談あれ 京城旭町一丁目 島崎病院


祖母イキ儀六日午前十時死去致候間此段謹告仕候也
追て葬式の儀は十日午後二時大和町開教院に於て相營み申候
十二月七日
男 城臺一六
親戚 崎原善六
山口喜三郎
代總人 城臺神量
友人 橋口卯作
佐藤牧太郎
代總人 佐野彥壽

# 國境橫斷旅行（六九）

## 女の働く北鮮の風俗

### 市は全く『女の市』だ　山中若い女に能く出逢ふ

女が牛馬を牽いて鷄や卵類を携げて市に行く

惠山鎭にて　特派員　伊藤韓堂

惠山鎭と其の附近

明島避難民ご共に盧頂嶺を下り

林川四里の **徑を引返して**

遊擊胞胎山里に歸來するご崔徒淳君も歸つて來て居つたので此處に一晩厄介こなり翌朝名殘りを惜みつゝ更に三里の森林を拔けて寶泰洞に歸り著くご駐在所でも大喜悅『今夜まで待つて若し歸り著かれない其の時は捜索に往かねばなるまいご實は今相談して居つた』このここである。吉田巡査氏を始め世話になつた人達ご別れて更に

**青林洞普天堡** を經て佳林洞を通過するご既に日が暮たので何處か宿屋をご探したが此の邊は人家がない。通商川に沿ふて闇路を辿つて來るご江岸に燈火が明滅して居るので辛うじて行き著いて戶を明るご夫れは意外にも內地人の家であつた。宿屋ではないが筏夫が大勢宿泊して居るので此處に一夜を明かし十月五日の朝六時、更に江岸に沿うて下つて來るご今日は馬鹿に人通りが多く男女老幼共に牛を牽き馬を牽いてをる。牛は大低牛橇であるが

**山東の道路は** 概して山坂であるので牛馬の背以外は橇より外に使ふものがない。橇の仕組も頗る簡單で誰にでも出來さうである。又女は若い者が多く牛橇を牽きながら手に鷄や卵を携げてをる。北鮮地方は一般に女の働く處で山の新刈りにも畑の耕作にも男女半々位で働いて居る山中の寂しい處を步いて居るこ能く若い女が一人旅をして居るのに逢うこがある。又十五六や

**十七八位の娘が** 深山中の畑で一人淋しく働いて居るのを見ることがある。而して之れに道を尋ねても耕作物のここを聞いても愉れもせねば耻かしさうな顏もせず立派に答へる所あたりは南鮮方面ごは大分趣が違ふやうである。何處に往つても市は大低『女の市』こいひたい程女が多いやうだ。今日は市ご聞いて思ひ出したのは『八十四圓號』だ今度の三池淵行きには

**惠山鎭の馬房** に預けて來たが兩三日中筏に乘つて鴨綠江を下るには馬はいらぬ、何ごか處分せねばならぬここに成つてをる今日の市を見外すこ賣ることが出來ないからこ急ぎ急いで十時半頃惠山鎭に歸着した。

# 陰謀の艦 爆沈か

## 元我が軍艦 姉川の末路

緣起を擔ぐ露國

日露戰爭の拿捕艦にて一旦我軍艦姉川こして就役し後再び露國に讓附せし露國戰鬪艦ペチンカ號は今浦鹽埠頭に其巨體を雨曝しご爲し居りて最近は

**過激派の** 陰謀本部こなりしも一朝にして覆へされ今又ガイダ及び社會革命黨一派の新政府樹立陰謀本部こなる等同艦の運命の變遷甚だしきものあるが流石に露國官憲も同艦を鬼門こ認め或は爆沈せしむべしこの說さへありこ右に就き

**浦鹽より** 歸れる一海軍武官は曰く『何日もく陰謀本部にせらるゝペチンカ號を其儘で置く事は緣起を擔ぐ露國官憲間の問題になり此際何うかして仕まはうこ云ふ議が持ち上つて居るらしい何分一進代

**八十噸と** 云ふ澤山なる石炭を喰ふ艦なので商船にしても算盤が取れないので手を出す者がない結局爆沈して古鐵丈けでも賣つて仕舞ふこ云ふ話になつて居る日露戰爭當時有力なる巨艦が今は厄介視されて居る始末なのも露國の現狀を物語つて居るものではないか』

# 本邦に於ける空前の 長距離大飛行

## 所澤福岡間千六百哩

### 陸軍航空隊の壯擧

陸軍航空部にては近く本邦空前の長距離大飛行を實行せんこの計畫あり之が爲め近所澤飛行場に於て十時間分の揮發油及び機械を充塡すべき大型タンクを作製し略完成を告げたれば遠からず同飛行場にて該タンクを搭載の上試驗飛行を實行すべしこ而して今回の長距離飛行は所澤より大阪を經て福岡に達する往復約千六百哩にして大阪は中間の着陸地こし所澤福岡八百哩を十時間以內にて一氣に突破せんこするものなり（福岡支局）

吹雪のまゝへ

# 耆老下賜金

七十歲以上の華族に

長きあだりにては高齡者御優遇の思召しを以て御恒例により明年一月八十歲及び七十歲の華族に對し御紋章附金盃及び養老金を御下賜あらせらる由承はる此目出度き高齡者は麝香間祇候久我通久、樞密顧問官芳川顯正、御歌所長侯前田定利、宮中顧問官岩倉具綱、臨時帝室編修局長谷塡政（以上八十歲）宮中顧問官子爵東園基愛、子爵栗原恆…氏以下十名（以上七十歲）なり（東京特電）

# 恩給者の福音

增額原案作製中

現職文武官の恩給は每年三千萬宛支給され其の內二千萬圓は武官にして三分の一なる一千萬圓足らずが文官の恩給額なるが昨今各地に渡り恩給者の增額請願頻々ご起り當局も亦其の內情を察知し愈々救濟の道を講ずるこゝなしたる由（東京）

# 銀貨の煩悶

## 銀塊が高いので世間には出ぬ

新たに鑄造された

大阪造幣局は新白銅貨二千二百萬個の鑄造を終つて之れを中之島の日本銀行支店に送つた向は來年

**三月迄** には更に五百萬個を鑄造する筈で銀貨の方は五十錢こ二十錢こで今迄の二千二百萬圓程は早くから出來上つて現在日本銀行に納まつて居る勿論是れが世間に出るこ年末の小錢拂底も幾分緩和され更に小錢が潤澤になるが銀塊の相場が昨今の樣に

**猛烈に** 騰つて居る今日是を出すご忽ち大きな損失ごなるので相場が下る迄新しい銀貨を出す事は見合せて居るご云ふ

# 評判の好い 自動車學校

## 二箇月で卒業 勝負が早い

京城自動車學校が京城に設置されてから未だ二箇月にしかならないが僅か二箇月の修業で自動車の運轉が出來るこ云ふ手つ取り早い學校だけに一般に非常な評判である第一期が四十八名で十月十五日入所し目下自動車運轉の

**實習を** やつてる第二期生が四十五名で十一月十五日入所目下は學課修業中である學課は自動車學電氣學自動車修理法操縱法等である訓練院の廣い處は其實習場になつてゐて此頃は每日自動車二臺で運轉の實習をやつてる第一期生の卒業は本月十五日であるが既に卒業後の

**就職口** は半數以上定まつてる相である、過般は講習所で勉強した生徒三名が講習所で若干練習をして運轉手の試驗を受けた所三名共合格し滿鐵其他へ就職して大喜びだこか講習所の山北主任は語る『何しろ短時日の講習ですから講習だけで一人前になるのは六ヶ敷いが更に卒業後一二箇月練習を積めば

**立派な** 運轉手になれます、自分こしては二箇月間に仕上げたいので努力して居るます何しろ午前九時から四時迄の授業ご更に夜間は研究會を續けてゐるので內地の學校よりは充分教育が出來る筈です、京城の運轉手の試驗は却々困難で8字形の運轉をやつた上に市街の實地運轉もやるので內地の

**カーブ** を運轉するのこは雲埌の差です。從つて朝鮮の合格者は中々優しい腕前では出來ません、然し自分は學校の卒業生の八九十パーセントは卒業後直ぐ試驗に合格させる意氣込です。入所の資格は小學校卒業程度でしたが今後は高等普通學校卒業程度ごする筈です』

狩獵大會の殊勳者

（右より）一等山崎新君、二等小林子謙君、三等森嘉吉君、四等吉田九郎君、五等小林鐵太郎君

# 止を得ずば地方から

## 呼寄せて間に合せる

### 靴職工罷業の善後策

夕刊所報─靴職工の同盟罷業につき一組合員は語る『職工の賃金は今年の一月迄一足分一圓二十錢でしたが其後三月、九月、十一月ご三回の値上を行ひ現在は二圓支給して居ます、一足分ご云つても之は唯

**底を作る** だけに支拂ふ賃で上皮を付ければ更に五十錢餘分に支給する事になつて居ますから結局職工は一足につき二圓五十錢の收入がある譯です、普通一足仕上るには十時間

**腕の達者** な職工になるこ一足半は作りますから之等で一箇月働くこ先づ八九十圓の收入がある譯です、職工こして八九十圓の收入は決して馳い方ではありますまい、組合が例へ二十錢にしろ、値上げを承認しやうこいふのは畢竟柄職工に對して

**厚意を持** つて居るからです、職工側が何うしても就業せぬこ云へば其時は止むを得ず、內地若くは地方から職工を呼び寄せて急場の間に合せる心算です、之に就ては原料店の方でも大いに同情を寄せ愈々然うなれば

**一千圓許** り補助して吳れる事になつて居ます』云々右聞く處に依れば組合は絕對に二圓五十錢以上の要求を排斥する一方明年一月頃技術審査を開き審査の結果技術優秀を認めたる者には之が支給する事こなり居れりこ、兎も角愈々如何なる手段に出るかは今九日更に役員會を開き決定する筈

# 女流飛行家に！

## 亡き父の遺志を繼いで

此程伊藤飛行學校へ入學した 松山市の兵頭せい子孃

愛媛縣北宇和郡二藤寺字東仲兵頭せい子（十七）は母民子（五二）姉かつゑ、ゆつる等こ共に淋しい生活を送つてゐたが先年ふこ

**父の手箱** を整理中今迄全く氣付かなかつた飛行機の設計圖を發見したので母に訊ねるこ父は生前飛行機の研究に熱心で模型なごも屡々作つて見たが資金の足りなかつたため遂に成功しなかつたこのここで爾來せい子の小さい胸には

**父の意志** を繼いで飛行家になりたいこの希望が絕えなかつた此の程せい子は松山市の某女學校二年在學中…

**家族ごも** 相談の結果一間の質家を得て金一千圓の餞別を貰ひ去月二十日遂に千葉縣津田沼の伊藤飛行學校に入學の手續きをした

# 郡書記の收賄事件

## 犯罪曝露して檢事局へ送らる

全南潭陽郡廳庶務主任廣瀨直藏氏は十一月三十日附依願免官ごなりたるが其の裏面に…

**其筋の** 聞知する所こなり道三部にては特に刑事を急派し本事件の精探を行ひ結果詐欺收賄等の犯罪曝露し愈々此程廣瀨山田兩人の身柄をば順天支廳檢事局送りこ爲せり前記島田隊長は曾て山田より金圓の賄賂を受けたるも之を

**容れず** 過般の官制改正に依り退職內地へ引揚げたるもの、收賄者廣瀨直三は全南道勤續十一年間に及び相當手腕を振ひ地方民の聲望高かりしに惜むべし（光州）

順天警察署に拘引されたり、今事件の

**眞相を** 報ぜんに現住順天の自動車營業者山田信一の開業せる順天麗水間九里の自動車營業を前仲鮮人金思海、擢臣氏に讓與すべく此間の接衝に當りて、廣瀨主任は山田こ共謀の上車輛二臺こ其營業權こを二萬五千圓の價値あるものこ

**煽動し** 遂に九月中旬兩者の賣買契約を一萬九千圓にて成立せしめたるが、山田ご鮮人側この

**賄賂し** したり、一方鮮人側は山田は之が報酬金こして廣瀨に一千圓を要求されたるも他に調定の勞を取し當事の憲兵分隊の島田隊長にも若干金の賄賂を爲すべしこの理由を以て一千圓の要求を拒み金七百五十圓を…麗水順天間の自動車運轉は今後永久に獨占的營業線にして自己の利潤を他に壟斷さる、怖れ…しこ所存し居たるに續いて順天行志より同線路の自動車營業出願されんこするあり無くも之を

贈答品輸入案內 カロイ府ジモンアーズ社エジプト

京城南大門通 青木堂

# 孫秉熙は經過良好

## 差入辨當も殆ど食盡す

西大門監獄未決監房に收容中の騷擾事件の首魁孫秉熙が此頃から中風症で起居にさへ苦痛を感じつゝある事は既報の通り八日午後監獄を訪問すれば三井典獄は『孫秉熙が此程突然四肢の言語に不自由を感じたので直ちに監獄醫をして診察せしめ更に總督府醫院有馬醫官にも來診を乞つたが同醫師も共に腦の軟化症ご診定されたので充分に注意を加へて居る所食事も殆ご常に復して來たのは益々良好で今朝看守の報告によれば殆ご病氣ご認めぬなごこいつて居るから今の處生命には別條はない』

# 緩衝機（投書歡迎）

## 生產保護法

憂國生

此頃月給生活者に一若干の增給があつたので夫婦者が子供一人二人位の家では一寸一息つけたであらうが家族の多い處ではあれ位では迚も何の足しにもならぬらしい物價騰貴で困つて居るのは多人數の家庭である日本も大分人口增率が減りつゝある樣で國家將來の爲め誠に憂慮の極みであるが然し今日のやうでは背に腹はかへられぬ矢張り避姙法でも講ぜねばならぬここになるのは止むを得ないここに詰められないではないか…黃色人種は黃色人種で大に人口殖やさねば白色人種に對抗し得る準備は寸時も怠つてはならぬ殊に黃色人種の先發者たる我國がこんな風では將來はどうなるであらうか誠に寒心に堪へない次第である此際當局は人口生產保護法を講ずることは目下の急務ではなからうか生產保護法に一種の方法があるが普通家族手當を給する策の最も得たるものこ思ふ朝鮮で一或大銀行なごでは既に之を實施して居るさうであるが滿鐵の如きに近く又家族手當の議論がある樣で誠に結構なことである此際朝鮮でも多少是等に關して考査されたいこは思ふが未だ何たる音沙汰もない國家將來の大計たる人口增殖に著眼して速に家族手當の方法を講ぜられ度い

## 石原校長

RT生

私は去年京城日報でこんなここを讀んだここを記憶してある『小學生の中學女學校入學準備の豫習は教育は非教育的にやらぬ樣に校長會議で決定した筈である』こ。併し此頃我校の生徒が帝掛がついて暫くして何を三々伍々揃然こして歸宅しつゝある有樣を見て實に意外に思つたので聞いて見るこ、おそく迄豫習をされてゐるこの事ここに驚き入つたのです。察するに所謂積極的に豫習をやつて居られるのも見ゆる。石原校長よあなたはいやしますまいか。中學校に何十名の成績で入れたから名譽であるの。女學校に何人入れたから教育者たる責務を果したご思惟さしてはあるまいか。教育が一朝一夕の事でないここは吾々の如き門外漢でも知つて居ます。無理に無理な豫習のお蔭で入れた學童自身はどれだけ幸福を感じるでせうか又思ひがけない頭の惡い學生を受取つた中學校女學校の先生方も少し眼を塞げたら如何でせう。校長よ今少し眼を開け一時的の名譽を博して吾事足れりご爲すが如きは凡々たる教育者である物質的に教育を見る勿れ、精神的に做て欲しい。私は教育には無經驗ですから私の述べた事が違つて居るかも知れぬ。もし違つて居たら大に叱つて下さい。少しでも御參考になるなら採つて頂きたい。

# 新年文藝懸賞募集

**課題**

▼和歌『田家早梅』
▼俳句『猿曳き』
▼川柳『ストライキ』
▼俗謠『登宿梅』
▼物は附『可愛い物は』
▼一口噺『間の拔けた事』
▼下句付『阿呆らしい』
▼謎々『勞働問題』（かけて）
▼小品文『隨意』（十四字詰廿行以內）
▼漫畫『題隨意』

**制限**

（一人に付）一題一首又は一句但し一人に幾題投稿するも可（用紙）端書又は同型の紙（〆切）十二月十日（注意）題毎に別用紙に認むること京城日報社編輯局新年文藝係宛送附する事

**賞品**

（各題に付）一等壹圓（一人）▲二等五拾錢宛（二人）▲三等卅錢宛（三人）（但本社代理部の新案商品券贈呈）

**訃** セウルプレス主筆山縣五十雄氏の第三女綾子（二十歲）は久しく流行性感冒症にて東京日本赤十字社病院にて療養中去る四日逝去…

萬病 五香湯

婦人病 せんきしやく 產前產後の 特効藥なり

三十年來 有名なる西覺寺 せんき妙藥の 五香湯

定價 壹圓也 武圓也 七拾五錢 貳拾錢

岐阜市上加納 西覺寺

全國到る處の有名藥店にあり

肺病肋膜炎 責任賣藥

肺病、肋膜炎藥トシテ其名ヲ博シタル榮藥ト併用藥ナキ至極安全ノ天光ハ其効能ヲ萬人ヨリモ早ハ五日分服藥試驗ニアリト、是迄多年全國各新聞ニ無代施藥ノ廣告ヲナシ先ニ五日分ヲ進呈シ効能御認ノ上服用セシムル方法ナリシニ、病院及患者諸氏ノ熱心ナル御愛用ト共ニ全快謝禮ノ…

發賣元 長崎天光合名商會 振替福岡二八二番

製造元 長崎小ケ倉 本願寺說教所

鎭靜催眠劑

神經衰弱、不眠症特效

カルモチン

本劑は腦脊髓神經病專門東京山田病院長醫學博士山田鐵藏先生、醫學博士佐藤四郎先生東京醫科大學醫學士佐藤惇一先生外多數の臨床實驗に依り、神經衰弱、ヒステリー、神經性不眠に全然副作用を示さずして効果卓越なる藥劑たるを認承せらる。

本劑は普通藥に屬す（說明書郵呈）

粉末二十五瓦入、十瓦入、錠劑十五個入、五拾個入こして全國知名藥店に販賣す

發賣元 大阪道修町 武田長兵衛商店

電話本局三二四、三二二五 振替口座大阪 二八六、二四 六二番

優秀ナル淋病內服藥

ゴノチール

極メテ合理的ニ創製セラレ彼ノ危險ナル洗滌等ノ副療法ヲ要セズ單ニ本劑ノ內服ニ依リ淋疾、膀胱、尿道炎等ニ對シ遺憾ナク治療ノ目的ヲ達シ且何等副作用無キ最モ卓越セル一新劑ナリ（各地有名藥店ニアリ）

（說明書郵呈）（容器）三拾球入七拾錢 六拾球入壹圓卅錢 百貳球入貳圓

發賣元 大阪市道修町 西村藥林社

宮內省御買上

原料香水 オリヂナル

値上謹告

（小瓶、中瓶、大瓶 特大赤箱大瓶、同小瓶）壹割値上げ

高級ハンカチーフ付大瓶、小瓶、貳割値上げ

諸材料暴騰の爲め乍不本意本日より右の通り値上仕候間何卒御諒察の上一層御愛用の程偏に奉願上候

日本 發賣元 カオール本舖 東京 株式會社 安藤井筒堂

# 夜の蜘蛛　江見水蔭

「四十五」 挿畫　近藤紫雲

生憎側に人がゐなかつた。それ故誰も他に起してやる者は無い。

小糸としては、誰も見て居らぬのを幸ひに、知らぬ顔をして逃出すのが本來だけれど、不潔には相違無いが、如何にも年を取つてゐて、哀れに見ゐたので、氣味惡る〱、摘む樣にして起して遣つた。

突倒されたのだから、當然なら、怒りつけるのだが、身分だけに仕方が無い。

『難有う御在ました。濟みませんで御在ます』と乞食老婆は頭を擧めながら禮を云つた。

既う七十餘りの年齡かも知れぬ。頭髮は全く白い。腰は二重に成つて、竹杖を突いて、ヤッと支へてゐるのである。

此儘捨てゝも行かれぬので。祝儀に貰つた中から、五十錢紙幣を一枚出して。

『お婆さん、濟まなかつたわ。さァ之を上げるよ』

『お有難う御在ます』と云ひつゝ、其紙幣を取つて、龍の樣に成つてる掌の間に押し込んだ。

一寸轉んだばかりで五十錢儲けたのだから、好い立前には成つたらうと思ひの他。口には禮を云つたけれど、格別喜んだ表情が無い。然うして竹杖に縋つて二重に折れた腰附き危く、其の後の方へ躙りながら。

『あゝ變れば變る世の中さね。五十錢紙幣だつて昔は[illegible]で龍が附いて色が青だつたもんだが、今時の紙幣は、權模樣だぞればかりぢやア無い。昔は五十錢が二つあれば、お米が一斗二升から買へたもんだが。今ぢやア何うして、間に一升六合なんだからね。間に轉ばされるとしても、姿が柳橋にゐて雲井屋小糸と云つた昔には、一番安くつて五十兩貰つたもんなのだが：年は取りたく無いもんさね。同じ轉ばされても、新しい言を、せられながら、ヘン、半開札一枚なんだ。見れァ堅氣の娘さんとも思はれないが、婆達の若い時とは心掛が違つてるよ。馬鹿々々しい』

此乞食老婆も、名を小糸と云ふのだと見ゐる。素より偶然に過ぎ無いのだが、妙な廻り合せだと考へると、自分に當附けて云つてゐるとは知りながら、先づ云はせるだけ云はしたい氣がして、其後を尾けたくなつて、新しい小糸は古い小糸の後から歩いた。

乞食老婆の小糸は、猶も獨言を續けながら。

『姿だつて、柳橋で、雲井屋小糸と云つたら鳴らした者で、今ぢやァ斯うして竹杖を持つてるか。此手には三味線を持つて、先づ娘では江戸一と云はれたものさ。容貌だつて、そんなに二の町では無かつた證據には、北頭の銀行の頭取をしてゐらッしやつた婦師樣の御贔負を受けてね。それから西郷さんの弟さんの、從道さんの蹴も拭いたもんさ。角力では先代の梅ヶ谷。役者では五代目。隨分浮名を流したもんだが、既う斯う成つちやア仕方が無い。養育院入りも氣が利かないから、お貰ひをして、歩けるだけ歩き廻つて、後には國へ行つて、南無阿彌陀佛さ。橋は既に變つてゐるけれども、水の流れは昔と同じだからね』と誰に云ふともなく喋り〱歩くのである。既う語り掛ける者が無いので、寂寞に耐へず。唯獨りで語るのであらう。過去の榮華を追想しつゝ、斯くして死の國へ一歩々々向ふのであらう。

これは決して他人の事では無いと思ひつくと、急に小糸は寒氣を感じて來た。

散々自分が罵られたに關らず、此老婆が慕はしい樣な氣がして來た。

これは自分の未來の影が、今斯うして眼前に見ゐるのでは無いだらうか。

否、雲井家小糸の過去の影が、斯うしてる自分では有るまいか。

ごちらにしても考へなければならぬ。

人間が何時までも若くてはゐないのだ。何時か一度は此老婆の樣に年を取らずはゐられ無いのだ。

唯併し七十餘り、八十近く成つてまでも、斯うして漂浪して歩かなければ成らなく成るか如何か。それが問題であると、其處まで小糸が考へ及んだ時には、早乞食老婆は裏の方へ拔けて、既う姿は見ゐなく成つてゐた。

日之出名物御卸
京城本町一丁目
日之出商行御部
御一報次第見本送呈

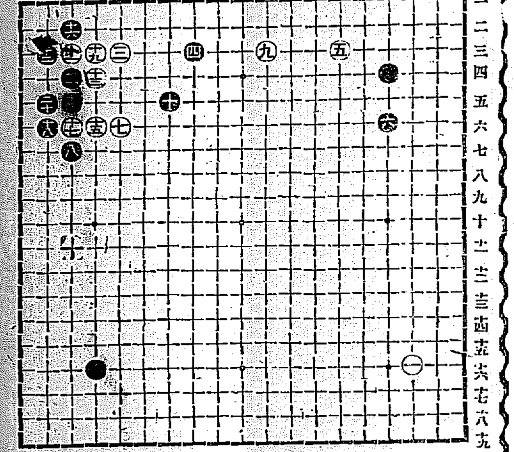
タオル
戸タオル諸印一手販賣
城京若草町四〇
商卸 上月商店
電話一〇三五番
振替京城五三二番

## 圍碁新局(一)

(十一月中旬於本社主催圍碁大會)

五段 瀬越憲作氏
二子 紀本龍太郎氏

| 手 | | 位置 |
|---|---|---|
| 一 | ○ | は十六 |
| 二 | ● | れ四 |
| 三 | ○ | よ三 |
| 四 | ● | な三 |
| 五 | ○ | へ三 |
| 六 | ● | に六 |
| 七 | ○ | よ六 |
| 八 | ● | れ七 |
| 九 | ○ | り三 |
| 十 | ● | わ五 |
| 十一 | ○ | れ三 |
| 十二 | ● | さ三 |
| 十三 | ○ | た四 |
| 十四 | ● | れ五 |
| 十五 | ○ | た六 |
| 十六 | ● | れ二 |
| 十七 | ○ | れ六 |
| 十八 | ● | そ六 |
| 十九 | ○ | た三 |
| 二十 | ● | そ五 |




## 日報歌壇

### 寂光
□ 岩本 蒼生(仁川)

秋晴や敎會堂の尖塔の聳ゆるま上限り無き空
この朝何かは知らぬうれしさのわが身めぐりて秋の匂ひす
昨夜のまに乘りけらしな事務室のデスクの上に君が文あり
なつかしき文が一通おかれたる朝のデスクの薄埃りかな
かにかくに今日の一日も幸あれさのびあがりつゝカーテン繰るも
この朝の浮き心にびれもちか掛けよさて窓ぶ繰りたり
窓繰ればほのかに搖るゝカーテンの隙より見ゆる秋晴の島
一もとの電柱が立つ島の上蒼の深空ははろ〲として
わがはじく算盤の響快く室ぬち深く響くなりけり
計算の合ひし數字を書きおろすインキの色のわれに親しも
ものなべて秋は冷たしペンとればペンにも輕き寂しさを知る

□ 赤部 光二(京城)

海に入りつぎ〱よせ來る大波をかぶりて我を忘れてゐたり
砂にすわり唯君達を見つめゐさわが初戀の淡き思ひ出
九十九里歩み疲れて佇めば君は僅かに額上げしかな
君とある此のよろこびにふさ見れば海より出でぬ大き赤き月
身をよせて砂を踏むなり君と我海には波の月か碎ける
しつかりと握られてゐぬ二人の手磯の松原更けし月かな

□ 國府 菅國(永登浦)

和みたる風のあかさき空高くしみじみさして星を仰ぎぬ
清やかに晴れたる空をうねりつゝ棹なして雁の渡る朝かな
路のべの冬木に白き時雨降り開くも淋しき牛の鳴啼き
汽車にして隣れる人のふち無しの眼鏡も寂し夜を旅行く
外套の羅紗の匂ひに物思ひ夜汽車の窓に流星を見つ

□□□□□□□ 紫の帳幌詩(?)　有馬 琴之助

漂泊の旅の夜にきく浪の音高々しければ故里の戀しも
はゝそはの母のみ文の變體假名たどりつゝ讀むもなつかしき哉
潮騒の低きさゝろき小夜床に妹はめざめて涙ながしも
新らしきシーツに籠る石鹸の香をなつかしみ瞳をさぢにけり
これやこの港の町の更けし夜を入りくる船かも沖つ光る灯

久證 夜詩錦(?)

向つた陽下の白き路を自動車(?)しろ陽に光りつゝ
落葉松なかの畑の大根はもいきぬかれち共の葉枯れたり
まひろまの廣野をゆく汽車の笛たかく〱山にこだましにけり
紺碧の秋空深く赤土の山ゆ鳴きつゝ鴉まひ立ちぬ

產科 婦人科
京城壽町電二二〇一
醫學士 二宮醫院
二宮亮平

●氣の利いた贈物　ホーカー化粧品本舗にては目下歳暮、クリスマス、年玉用の進物箱を賣出しつゝあるが、本年は從來のホーカー液、ホーカー白粉、ホーカー美髮液の外に最近發賣して非常の好評を博しつゝある浄化精科ホーカーパット家庭實用ホーカークリーム白粉を加へたるを以て特に進物箱も一號五種詰合定價二圓十五錢より一圓五十錢、一圓三十錢、一圓五錢、一圓、七十錢の六種として發賣したるものにて體裁頗る優美價格も恰好なるを以て一般の評判頗る良しとの事なり

▲浮世生さん　僕も同樣貴方の職を得んだ青年です。然し僕は先方より戀せられ、先方から振られたものはなく女程恐しいものはありません。僕は斷然として婦人青年の前途を誤らしめる女にはまいと決心してゐますそして今後は決して女に[illegible]

[illegible]

ミルクチョコレート(?)

# クラブ白粉

新時代の御婦人のお化粧は

## 白粉の付方

白粉をつけるには先づ生地を整へなければなりません、夫には(一)生地の美を増す日本名物クラブ洗粉でよく顔から頸筋を洗ひ、(二)一番よくきくアレ止め兼用の美身用クラブ美身クリームを顔から襟へかけ指先でよく擦込んだ後、熱湯タオルで輕く拭取ります、生地がスッカリ整つて參りますから、(三)一番所偏で美しい艶の出るクラブ白粉を茶に取り、指先でよく練つてつけ、(襟は顔よりも少し濃く)牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で均らし、濡タオルで押へて白粉を落付かせ(四)お顔にホンノリと桜色の健康色を出すクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷き付けますと、花のやうな艶麗な色艶が出ます、夫を一層新鮮に落付かす爲め、(五)クラブ粉白粉をセームの革につけて顔に薄く打ち、襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム革で輕く打ちますと、清新な美しいお化粧が瞬間に出來上ります。

月やく
より又は不順にして久しく人知れず心配の方は[illegible]
大阪東區東雲町停留所前 [illegible]

らい病
最新自宅秘密療法如何程困難の方も悲觀し給ふな本療法にてヨクナルと人知れず秘密に治ります 費用切手送れば[illegible]
兵庫縣明石郡[illegible]

せきつい
病に苦しむ人の病以來[illegible]
この治療法奇藥にて[illegible]
播州明石相生町 櫻山家

▲淋病患者ノ一大福音
七代目家傳秘法淋丹ノ着荷
[illegible]
京城府吉野町一丁目九十一番地
吉澤德次郎商店
電話長一五一六番 振替京城一三八六番

優等清酒

福岡縣三井郡山川村
醸造元 富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元 富安京城支店
電話長一〇三九番 振替口座四三九番
御用命ハ[illegible]

内科 婦人科
旭町壹丁目(京城府廳裏通)
イマモト醫院
電話二八五一番


## 値上り謹告

金鶴香水 壹本ニ付 大瓶廿八錢 中瓶廿貳錢 平瓶拾八錢 小瓶五錢 豆瓶參錢

ツル香水 壹本ニ付 大瓶拾八錢 小瓶拾錢 大豆瓶參錢 小豆瓶貳錢

諸材料益々昂騰のため乍不本意從來の小賣値段より右の通り値上げ仕候間何卒御諒察の上尚一層の御愛用賜らん事を偏に奉願上候

大正八年十一月廿五日

登錄商標

製造元 大阪 大崎組商會
東京 長瀬商會